

# 聖徒の道

# 2

VOL. 10 No. 2

1958年3月17日第3種郵便物認可（毎月1回1日発行）第10巻第2号 1966年2月1日発行



## 表紙のことは

《ゆきやなぎ》

—バラ科—

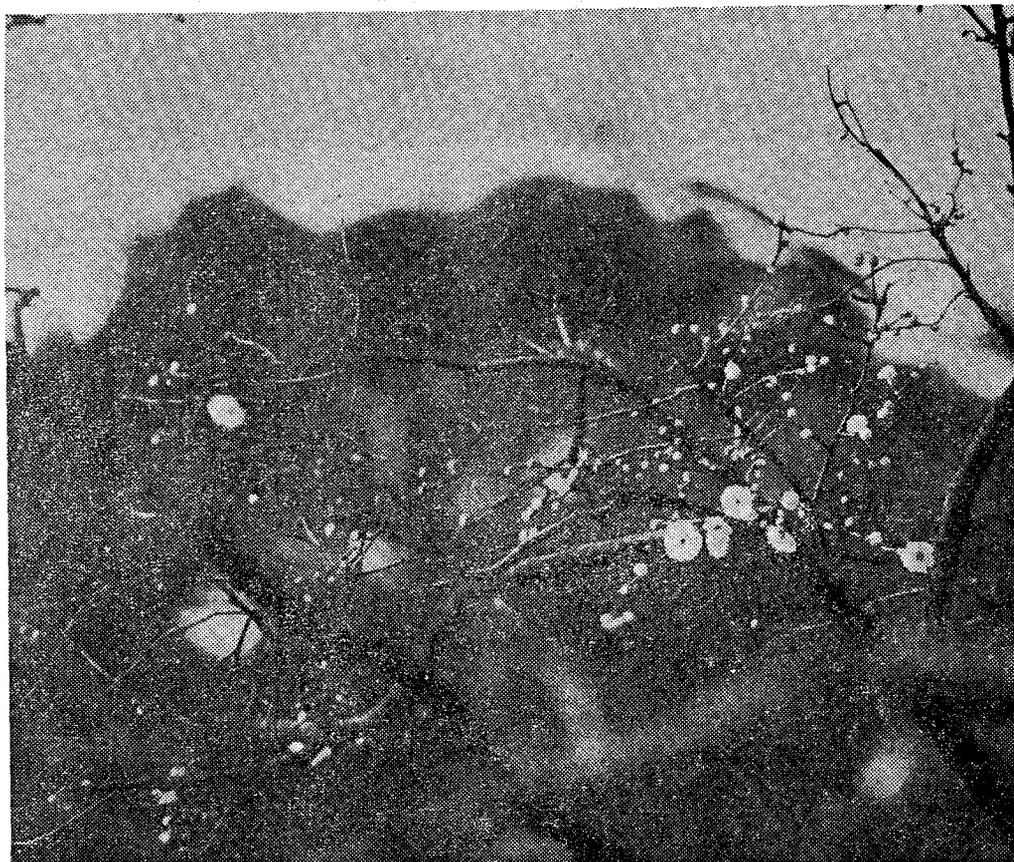
“ゆきやなぎ”という名前は、いかにもカレンな感じがする。葉が柳に似ており、白い花を枝いっぱいにつけたさまは、まるで雪のようで、この名前の由来がよくわかる。1メートル内外の落葉小低木で、山地に自生している。満開の時よりも蕾のややほころんで露を宿したような姿に一層雅趣が感じられる。花は小さいが、五弁の花の集りで花が終るころに若芽が萌えはじめ、やがて若芽が青葉となる。

立春の声を聞いても、まだ季節風のきびしいこのごろだが、枯れたようにみえる樹々の枝にも色艶が増してくる。猫柳や、ニワトコ、エノキ類の木の芽や、霜どけの枯草の中にも黒い大地をけて青草が芽生えている。



## 聖徒の道 2月号 もくじ

予言者のことは	2
身をきよく保て	デビッド・O・マッケイ
伝道部長メッセージ	4
	アドニー・Y・小松
質疑応答	6
	ジョセフ・フィルディング・スミス
系図のページ	8
教会におけるザブリスキー家	
	支部訪問《旭川支部》
ただいまマイナス三十度	10
特別読物	18
私は信ずる	22
証二話	
家族のタテキスト	24
本部だより	28
図書案内	



まだ重い雪の下で  
はやくも春への胎動がはじまる

心なしか空の色もかすみ  
野面わたる風にも  
ほのかに春の香がただよ

立春、バレンタインデー、探梅：  
陽ざしは日一日と春めいてくる

しかし  
北辺の聖徒には  
まだ厳しい寒さが続く

王国建設にはげむ同胞たちの  
健康がいつまでも続くよう祈る

# 身をきよく保て

大管長 デビッド・O・マツケイ



かえられるような経験をつむことであって、世の罪に染まることではないと言っている。

「救い主」はあのうるわしい祈りをささげたもうたその晩、自分の使徒たちに仰せになった「勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝っている」と（ヨハネ伝十六〇三十三）。「救い主」はまもなく父なる神のみもとへ会いに行こうとしておいでになるとき、使徒たちにむかって自分の模範にならえとさとし、彼らをこの世から取り去らずに悪から守りたまえと神にお祈りになった。

私はこれまで、明らかに教会に興味をもっていなかった若者たちが、教会を攻撃された時には、はっきり攻撃に反対してどこまでも戦かうことを時々見ている。私たちは、もし私たちの教会を侵害するものがあるならば、いつでも立ちもろともに戦い抜くのは当然であると思っている。

その感情、その防衛の精神は、いつも何か異常な反対のあらわれ、何か大きなものや来ることを求めている。このようなものがあるときには、私たちはいつももすぐさま教会を防衛するにちがいないと思っている、おそらく今日ただ今真理を防衛する力を弱める霊の侵蝕が私たちにおそいかかっているとき（そうするにちがいないと思っている）。

大あらしの唯中に立っていることのできる木も、けんび鏡でさえ見つけること

ある時ワーズワースはミルトンについて次のようにしるした「汝の心は空の星の如く高きに住む」。福音の諸原則と、末日聖徒の間の高い生活の標準とを考えると、末日聖徒は実に「選ばれた民」でなくてはならないと思える。私は末日聖徒が信仰を同じく

しない友人たちとまじわってはならないと言うつもりはないし、また末日聖徒が排他的でなくてはならないと信ずるつもりもない。しかし、末日聖徒イエス・キリスト教会の聖徒として私たちは（世の悪に染まらないで）「高きに住まなくてはならない」。

さらばどのようにしてか。ヤコブは

「父なる神のみまえに清く汚れない信心とは、困っている孤児や、やもめを見舞い、自らは世の汚れに染まずに身を清く保つことにほかならない」と言っている（ヤコブ書一〇二七）。教会員である使徒たちが（世の人々とは）ちがっていなくてはならないという私の考えは、世の汚れに染まずに身を清く保つという意味であって、この意味において、教会の子らは星の如く清くなければならぬと考える。

「救い主」はあのひじょうに印象的な祈りの中で自分の使徒たちのことを「彼らはこの世にのこって居り」（ヨハネ伝十七〇十一）と言い、さらに意味の深い「わたしがお願いするのは、彼らを世から取り去るのではなく、彼らを悪しき者から守って下さることであります」ということばをつけ加えておいでになる（ヨハネ伝十七〇十五）。

これはモルモン経アルマ書第四十二章にしるしてある教えに一致していて、そこには神の子らがこの世に在るわけが説明してあって、それはすなわち人の子らとまじわって、自分たちが神のみもとへ

がほとんどできない有害な微生物のためにまけてしまうことが度々ある。而して、現代における人類の最大の敵は、人体を攻撃する目に見えないけんび鏡の微生物である。

今日の男女の人格を知らぬ間にそこなおうとしているのは、社会の中で働いている目に見えない力である。この世からやってくるこれら目に見えない力こそ、私たちが最も防衛に力を出していないときに私たちをとって行く。私たちがこれら悪の力の侵蝕にたえないときにキリストの教会を防衛する可能性が弱まる。これは個人個人の働らきであって、個人の力の強い弱いとなる。

私は一度、友だちの一行とソルトレーク市から遠くない美しい(ソルトレーク)盆地に車を駆ったことがあった。そのとき私たちの一行は小麦畑の側を通りすぎた。

その乾地農法の小麦畑をながめるのは本当に印象的であったが、一行の一人は畑の豊かな実のりに嘆賞の色をあらわして広くながめると、畑は「ヨモギの一種」やあたりの不毛の地から離れて見えていた。しかし彼は全体を見ただけで満足せず、車を止めて小麦の「ほ」を一つ一つながめて叫んだ「何て大きな種だ」。

彼にこの印象を与えたのはただ一つの小麦の莖であった。彼はそれで足れりせず、穂をくだいて、手のひらの中でもむと「から」を吹きとばして実を一つ一つしらべた。そして彼はことばをつづけて言った「実は充実している」。結局、その小麦畑の試験は一つ一つの小麦粒の試験であった。社会の試験もこの通り、教会の試験もこの通りである。結局のところ、神の民の実力を試験することは一人一人の実力を試験することである。

然らば、一人一人は今何をしているか。「わたしは今この世の悪に汚れないように生活をしているか」とたずねなくてはならない。神は私たちがこの世に居ることを欲したもう。「あがない」という神の計画は、私たちに關するかぎり、ここに在る。されば、キリストの教会で同じわざにはげむあなた方は、神の真理はすでに啓示された故に、人類は主なるあがない主がこの世に生きてました当時に実行された如く、この世の罪から解放されてけがれのない生活をする事ができると、世の人々にあかしをする責任がある。

さて、「この世」とは如何なる意味であるか。それは時々ばく然とした意味で使われる。私は「この世」という言葉が神の聖徒から離れたこの世の人々のことを言っていると考える。「この世の人々」は教会の人々とは異っている。そして私たちが影響を受けぬようにしなければならぬのは「この世の」精神である。

パウロは私たちに、世の流れに従ってはならぬと言ひ、テモテに向つてはこれ

らのこと、すなわち世の中の悪にあずかつてはならない「若い時の情欲を避けなさい。そして清い心をもって主をよび求める人々と共に、義と信仰と愛と平和とを追い求めなさい」(テモテ後書二〇二十二)と言った。

心の清いこと—シオンはすなわち心の清き者であると言われているが、私たちの教会の力は、その会員の思いと生活の清いことに存する。それから、イエスのあかしは心に留まり、力は一人一人に生じてこの世の悪にたたえるようになる。これら世の悪は、私たち日常のまじわりの中に人の目につかぬ姿で出てくる。これらの悪は「救い主」がバプテスマを受けたもうた後にやってきたように誘惑のかたちでやってくる。

それらの誘惑は何であったか。サタンが「もしあなたが神の子であるなら、これらの石がパンになるように命じてごらんさい」と言ったとき、サタンは食欲に訴えていたのであった。サタンはイエスが空腹であったことを知っていた。またイエスが肉体的に弱っておられたことを知っていた。それでユダヤ人のつくるパンの形に似ている小石を指したなら、イエスの食欲をそそることができると思

ったのである。この誘惑に失敗して、イエスから「人はパンだけで生きるものでなく、神の口から出る一つ一つの言で生きるものである」(マタイ伝四〇四)という神聖なことばを受けると、サタンは次に別な方法をイエスに試みた。サタンはあえてイエスを試みて、イエスの誇りとイエスの虚栄心(とサタンの

思つたもの)に訴え、自分の誘惑が正当なものと思わせるために聖句を引用した。忘れないがよい、悪魔は自分の目的を達するために聖句を見つけることができるからである。しかし「救い主」はこれに対して聖句でお答えになった「主なるあなたの神を試みてはならない、とまた書いてある」と(マタイ伝四〇七)。

第三の誘惑は何であったか。サタンは権力と領土と富を愛する心に訴えて言った「これらのもの(この世の国とその栄光と)をみなあなたにあげましよう」、「もしあなたが、ひれ伏してわたしを拜むなら」と(マタイ伝四〇九)。「サタンよ退ぞけ、主なるあなたの神を拜し、ただ神を拜し、ただ神にのみ仕えよ、と書いてある」、これが「救い主」の答えであった(マタイ伝四〇十)。

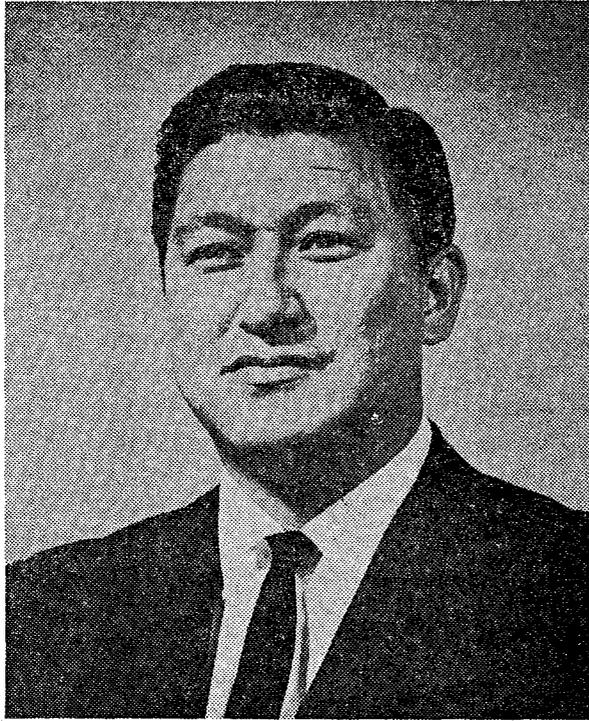
あなたと私にやってくるほとんどすべての誘惑はこれらのかたちでやってくる。それらを分類してみたまえ、そうすれば、これらの三つのうちのどれか一つのかたちでほとんどすべての誘惑がくる、あなたも私も言いあてることがわかるであろう。

それらの誘惑はどんな小さなものであろうとも、(一)食欲に訴える誘惑として、(二)神の事から遠ざかっている人々の高慢と旅行と虚栄に負けることとして、また(三)肉欲の満足、この世の富に対する欲の満足、または権力の満足として、私たちにやってくる。

私たち一人一人が、この世の中にある数々の誘惑に負けずに生きて行くように。これが私の祈りである。

# 愛する兄弟姉妹のみなさん

アドニー・Y・小松 伝道部長



私は共に働らく教会の多くの会員たちの愛と献身を心から感謝しその召しに対する忠実さと奉仕の姿を何時迄も忘れることができないでしょう。

私と小松姉妹は各地方部を歩いて皆さんの福音に対する熱意と愛を感じました。

私たちが家族は始めてこの寒い冬を経験しております。そして私はこの私たちの体の体温を守ってくれる衣服に深く感謝しております。そしてこの伝道部で働くこの大きな特権と祝福に思いを致すことができますのであります。

私たちは皆さんの暖い友情と敬虔な態度に感謝し、それぞれの大会で皆さんにお逢いできたことがいかに大きな祝福であつたかを強く感じます。私は皆さんの福音に対する熱意が続けて成長し、常に

豊かな主の祝福が皆さまと共にあるように望み且つ祈っております。

私たちがいろいろの教会活動に参加するに当たってまずへりくだって神の国を求め、確かに主は私たちが日常の生活で必要としているものを祝福して下さるでありましょう。

私は皆さんにあるいは私たちの教会の指導者たちの天のお父様に仕える時の態度に就ての説明を紹介したいと思いません。

私たちは教会において地位を求め、でなくて召された時には却って、へりくだって勤勉に奉仕するように教えられております。

私たちが権能ある人からある地位に召されたらその責任の大小にかかわらず、その大きな特権と機会を拒むべきではありません。

そしてその職に働らき始めたら、いかにその任務が困難であろうと中止すべきではありません。私たちは常に信仰と忠実さと勤勉さを以て続けるべきで、そうすれば必ずその任務は成功的に完成するであります。

最後に大切なことは、すべてのことが順調に行き、私たちの責任を持っている組織が適切な機能を以て運行し、すべての人が互によく調和している時に私たちがその地位から解任されたとしても、その解任に不平を持つべきではありません。

私たちはその職に奉仕できた機会を感謝し権能者の指示に従順でよく教えられる者となるべきであります。

ほんとに若し私たちがこれらのことを実行できたならば私たちは、ほんとの主の御手にある道具として主の御業をおすすめることができます。

私は私たちお互が常に愛しあい助け合うように希望し祈っております。

皆様一人一人の上に常に豊かな主の祝福がありますように。

# 俗世にかかわる律法と靈にかかわる律法の意味

解答者

12使徒会会長

ジョセフ・フィールディング・スミス長老

質疑応答は、教会の英字機関誌 The Improvement Era に毎月掲載される Your Question を翻訳したもので、私たちが日頃疑問に思っている問題に、十二使徒会会長のジョセフ・フィールディング・スミス長老が教会の公式解答をあたえてくださるものです。

## 質問

とも、いまだかつて俗世の事にかかわる律法を与えたることなし。いかなる人にも、人の子らにも、わが造りし汝らの先祖アダムにも与えたることなし」。

「見よ、われはアダムに自ら自由意志を行うことを許したり。われは彼に誠命を与えしが俗世にかかわる誠命を与えたることなし。わが誠命は靈にかかわるものなればなり。わが誠命は肉体のものにも俗世のものにもあらず、また肉欲のものにも情欲のものにもあらず」。

どうか第三十節から終りまでに述べてあることばの意味を説明して下さいようにねがいます。

「教義と聖約」の第二十九章第三十節から終りまでの間に「俗世にかかわる律法」と「靈にかかわる律法」についての聖句がありますが、私にはその意味がよくわかりません。たとえば、第三十四節と第三十五節にある主の御ことばは次の通りであります。

「この故に、われ誠に汝らに告ぐ。われにかかわるすべては靈のことなり。われは何時たり

質疑応答

## 解 答

「永遠なる父の神」とわれわれ人間との間にある大きな相違は、「父の神」が「完成に達した御方」であって「俗世的のもの」が何ら「父の神」にはないということである。われわれ人間が今経験している「人世」もわれわれにとっては始めも終りもあるが、「永遠なる父の神」としては、それは人間のためである「永遠の計画」に必要な一段階にすぎぬ。

われわれ人間は、人間の永遠進歩と完成とにとって欠くことのできない「此世での経験」を得るために此世へ来る特権を得た。「生れて死ぬべき人生」で経験せねばならぬすべては「神の御計画」の一部である。われわれは「始めがなかったから終りもない」と教わっている。「人生」とは永遠進歩の道程における一段階にすぎない。此世はすべてが移り変わる場である。われわれは此世へ幼な児として生れて来て、肉体は自然の条件

のもとに成長し、肉体を支配する霊も充分の成長をとげる。従って「人生」とは人間の永遠なる存在のうちの一段階にすぎない。此世では万物が移り変わるごとがわかる。「人生」の旅路を終るときには、われわれは「此世を通りすぎ」て、肉体は墓へ行き霊は霊界へ行って復活の時を待つ。復活の時にになると霊と体とは再び結合してけっして再び離れない復活体となる。

もしもわれわれが、昔アダムに与えられ、それから正しく任命された「主のしもべ」に代々伝えられてきた神の計画に忠実に従った生活をするならば、われわれは必ず輝やかしい復活をするにちがいない。そして、われわれは神々となり、権能をもつ神の息子娘たちとなり、ついに「完成」されて自分たちの子孫を支配するに至る。かくの如くして、われわれは「永遠なる父の神」の息子娘として、また十字架にその血を流して永遠の死から人類をあがないたもうた「人類の長兄」イエス・キリストと共に「父の神」のたもうすべてを共に嗣ぐ者となるのである。

この「人生」がわれわれに与

えられているのは、われわれが「救いの計画」を通して正しくきたえられ訓練をされて名実ともに神の息子娘たちとなるにふさわしくなるためである。

「永遠なる父の神」は、適当ならば一人のこらず救わせたもうであろうが、救いは神の律法によく従いよく守ったことに基いて与えられる。それであるから、救いは神の誠命に服従することによって得られる。

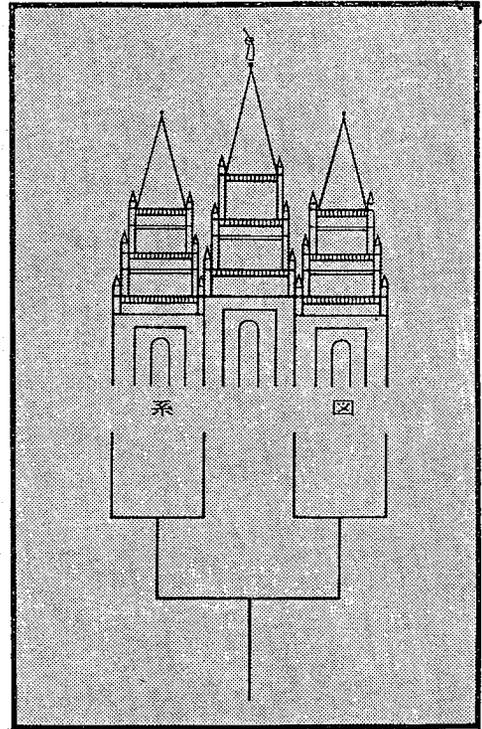
「人生」は人間をきたえる学校である。この「人生」こそ、われわれが直面している此世の条件のもとに、われわれが人類の「あがない主」と人類の「永遠なる父の神」とに忠実であるかどうかを試験するところである。われわれ人間は、「永遠なる父の神」の御前から閉め出されて、「人生」にだけ特にあるいろいろな条件のもとに生きなくてはならなくなっている。

人間が此世で学ぶはずである教えの中には信仰によって生きよ、見るところのものに従って生きるなどという教えがある。われわれ人間は、全く暗黒の中を手探りで道を見出すままに放置されてはいない。志のある者には神の光と知識が受かるよう

に、始めから福音の根本原則はつきり宣べ伝えられている。

われわれ人間が此世で学ぶ教訓の一部は、此世が与える楽しみも受けるが、それと共に苦痛も病氣も失望も親しくわが身に受けるであろうということである。この「人生学校」を通してわれわれは、ほかの方法では得られない多くの教訓を経験によって得るのである。「人生」というものは労苦も艱難もその他いろいろの状態のない所として人間に与えられたのではない。これらのすべては人間の知識を経験によって増すためであり、このためにわれわれ人間はこの「人生」に来るように命じられた。従って、「人生」は人間をきたえる時期であると見なくてはならない。「人生」における鍛錬のすべては、人類の「永遠なる父の神」の御国へ入って永遠の進歩と「日の栄の国の最高に昇ること」を得るために欠くことのできないものである。

# リスキー家



最近ニュージャーシーの編集員がザブリスキー家の歴史は、アメリカ合衆国の歴史であると言いましたが、この「アメリカ合衆国」の字句は、モルモン教会の字句を以て置き代えることもできるのであります。何となればザブリスキー家の会員は、シオン・キャンプ、クレイ郡（ミズーリ州）追放、ノーヴ、コンシル・ブラフス、モルモン大隊、及びユタ移住今日の教会の発展に至る迄活発に教会活動に参加して来たからであります。

ザブリスキー家は、アメリカに於けるポーランド系の最古の家族であります。又早期のアメリカ人としての来歴から、早期のオランダ系アメリカ人でもあ

ります。アルブレット・ザボロウスキー（まもなくザブリスキーとなる）は一六六二年、オランダ經由で東プロシヤからアメリカに来ました。彼はアメリカ生れのオランダ娘と結婚してニュージャーシーのバーゲン郡に住みました。

一八三二年に、インジアナのヴァミリーオン郡、ユージン教区における五代目のザブリスキーの二人の兄弟ルイス及びヘンリーが家族と共に当時まだ二万になっただかりの教会に入って来ました。ルイスは一八三二年の五月にバプテスマを受け、ヘンリーは一八三二年の八月十一日にバプテスマを受けました。ルイスはポーランド系アメリカ人子孫として教会の最初の会員であると言われて来ました。彼はまた同時に早期のオランダ系アメリカ人の子孫の一人でもありました。ザブリスキー家からステーク部及びワード部における多くの指導者が出ました。

ルイスはシオン・キャンプの十人の長を務めました。後に彼とヘンリー及びその家族たちはミズーリのクレイ郡に移りそこでイリノイスに強制移住させられた聖徒たちに加わりました。ヘンリーは予言者ジョセフ・スミスと共にダナイト党員のゆえを以て捕えられましたがすぐに釈放されました。ノーヴ時代にザブリスキーはミシシッピー河を超えてアイオワのリー郡に住み、そこでルイスは先ず

長老定員会の会長を務め、後にアムプロシヤ支部長を務めました。ルイスもヘンリーと共にノーヴにおいて大祭司に聖任されました。

出ノーヴが始まった時ザブリスキーはアイオワを超えて行きました。ヘンリーの息子のジェロム・ザブリスキーは、モルモン大隊に参加しました。一八四六年七月十七日、ルイスはコンシル・ブラフス地区の監督の一人に選ばれました。彼及びその家族が一六五二年、ユタのプローヴォに移住する迄彼はその職を務めました。ルイスは一八六〇年代の終りにデンヴァに移住し次にオマハその後ミズーリに行きました。彼は一八八四年四月四日に死にました。

ヘンリー・ザブリスキーとそのほとんどの家族は一八四九年にユタに到着し、早期のプローヴォの入殖者の一員でした。一八五七年、ヘンリーはここで死にました。ヘンリーの子孫及びルイスの子孫の若干は長い間ユタ、アリゾナ、及びネヴァダの教会の仕事にまた最近においては全教会に亘って活発に活動しております。

ヘンリーとルイスにはアブラハムと言う兄弟がおり一八三二年にインジアナで彼の近くに住んでおりましたがアブラハムとその家族は教会に入りませんでした。

# 教会におけるザブ

た。何年か後に娘の一人エリザベスがバプテスマを受けました。彼女とその夫、ヘンリー・エリシャ・ペリー及び彼らの二人の若い子供たちは、一八五五年にミズーリからユタに移住しました。彼らはブリガム市の近くのペリーの開拓者の一員でした。エリザベスの多くの子孫が教会中に拡がりました。その中には前のキヤシ・ステーク部長のエル・トム・ペリーもいました。

アブラハムの子孫たちも、その後教会に入りました。先ずマリヤ・ジェーン・ザブリスキー・ウォーカーの息子で現在ブリガム市にいるウィリアム・C・ウォーカー、またマリヤ・ジェーンの孫でカリフォルニア、フィテヤのロバート・レスリー・フレンチ及びその家族も教会の会員であります。

ザブリスキー家の本家は常にニュージャージー東北地方のバーゲン郡に居住しました。少くともニュージャージーの四つの分家が教会に加入しました。先ず、アールジェ・ザブリスキーの息子のヘンリー・J・ドーマス、彼及び彼の家族は先ずノーヴーに来て、それから聖徒らと共に西方に行きました。娘のアンネ・フエヤバンクス・ドーマスはウィラード・リチャーズの息子のウィラード・ブリガム・リチャーズと結婚しました。今日の子孫にはウィンダー・ステーク部長のヘ

ンリー・W・リチャーズ、前中央ドイツ伝道部長、ステッフエン・C・リチャーズ及びソルト・レーク市土木技師、A・ザブリスキー・リチャーズをも含んでおります。

次にザブリスキーの子孫で教会に入っで知られているのは、トーマス・ドブス・ジュニヤでありました。彼はマヒテルト・ザブリスキーの曾孫で一八四五年十月十五日にコネチカットでバプテスマを受け、家族と共に一八六〇年にユタに移住しました。その子孫には系図協会ポリネシア部のエルヴィン・W・ジェンセンをも含んであります。

一九四八年の初め頃ニュージャージーバーゲン郡で生れたザブリスキーの子孫エヴエリン・キングとその夫のアーサー・モルガンはホルルのワイキキ・ワード部聖歌隊に入って歌いたいと頼んで許されました。その結果彼らはエヴエリンの前夫の息子ドナルド・ヴァンダービークと共に教会に入りました。一九五〇年にアーサーが死んでから彼女はモルモンの宣教師としてオーストラリアに伝道しました。そして現在トッド・H・ヴァーノン夫人としてホルルに住んでおります。

第一次世界大戦中にバーゲン郡でケート・ザブリスキーの娘マリヤ・エラ・ハツェルが生れユタ・シピオのアーサー・

ハント・エスクランドと結婚しました。彼らはアイダホ及びユタに住みました。マリヤは一九五六年にソルト・レークで死にました。

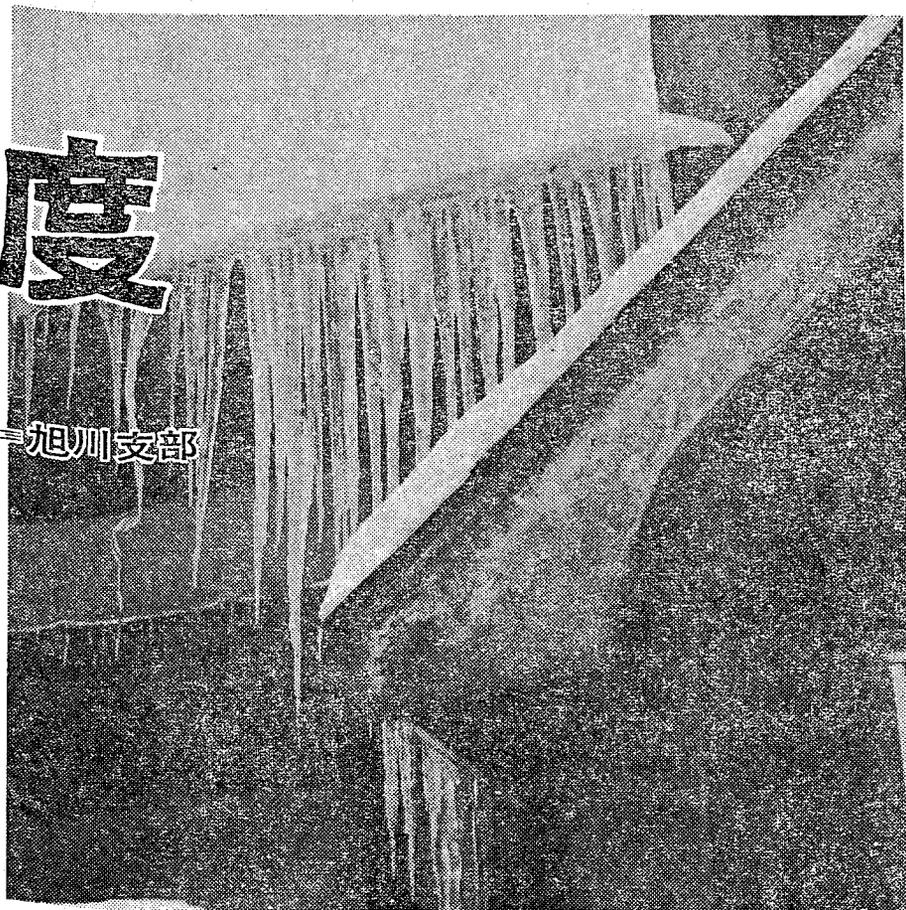
モルモン教徒の間に在ってほとんど四十年間生活したけれども彼女はメソジストに留りました。彼女の娘マウリオンは結婚してカリフォルニア南部に移住して教会の会員になりました。

ザブリスキー家はその当初から親密に神殿の仕事をしました。ノーヴーバパテスマの書Bにヘンリー及びルイスが死んだ肉親のためにバプテスマを受けたことが記録されております。

一九六三年の半ばでアメリカ合衆国に来てから三〇一年目になるザブリスキー家の六百名以上の氏名が系図協会でクレヤされました。バプテスマはソルト・レーク神殿で執行されました。それから氏名一覧表は、スイスとロンドンの神殿を除いて全ての神殿に分配され数カ月に亘ってエンダウメントが執行されたのであります。ハワイの神殿で六十五夫妻の結び固めが執行され一九六五年三月三十日迄に二百十九名の子供たちが結び固められたのであります。このようにして世界中から、充ち足れる福音の祝福が子供たちによってその父祖たちに捧げられたのであります。

# マ什ス ー30度

支部訪問＝旭川支部



## 和室十畳二間を

チャペル兼ホールに

北海道のちようど真中のあたり、秀峰大雪にあたかもいだかれるかのように、ひっそりしかし青年都市を豪語して、躍進を続ける街がある。それが旭川市である。かつては軍都として、その名を全国にとどろかせたが、今は人口二十六万の、木工の町であり、農村相手の消費都市でもある。上川盆地二百万石の中心部にあって、はてしなく展開する大美田は、いかにも北海道らしい広々とした風物詩をかなでている。

旭川の名は、アイヌ語の、太陽を意味するチュツプと、川の意味のベツを合わせた「チュツプベツ」から由来する。「水源地方に当り朝日の出るところ」の意識から「旭川」と名づけられたのである。しかし「あさひかわ」なのか「あさひがわ」なのかは、今日なお論議のあるところで、一定していない。

駅前昔「師団通り」今「平和通り」と、名前だけは百八十度の転換を遂げたにぎやかな通りを通過して、歩いておよそ二十分、やがて古いがモダンな、二階建の建物の前に立つことができる。これが旭川支部の建物である。

一九五十年十月、この地に支部が創設された。そしてこの建物が教会堂として使われてからでも十年を越している。当初は恰好の建物だったろうが、今では会

員も二百人を越え、毎週の集会にも四、五十人の会員たちが詰めかけて、全く手狭まとなっている。何しろチャペル兼ホールとして、和室十畳二間を通して使っているが、日曜学校の分級の際には、たちまち三つのクラスに早変わりしなければならぬからである。だが悲しいことにカーテンでただ仕切ったというわけだから、姿は見えぬが声がするというわけ教師の声も入り乱れる始末。他に六畳の洋間と二階の踊り場、それに二畳程の支部長室まで、これがすべて教室となる。それでも足りないで、宣教師の私室も半分が教室として提供されている。

## 暖房に一苦勞

我々の生活に欠かせないものに、冬の燃料の仕入れがある。秋に大量の野菜を樽漬けする漬物の習慣が、しだいに薄れて行く傾向にあっても、これだけは止めるわけに行かない。夏の石炭手当支給の時期から冬にかけて、各家庭では石炭を二トン、三トンとどんと仕入れて、ほっと一安心するのである。薪を使うところもあるが、原料の潤濁からしだいに少なくなってきた。そして最近、煙筒つきの灯油ストーヴなどもお目見えしている。電気ストーヴやガスストーヴは、費用の点や暖かさからいって、一寸北海道の冬には不向きである。

支部でも冬になると、二か所の石炭ストーヴと、いくつかの移動式灯油ストー

# ただいま



平和通りにある旭川支部の建物

今月は極寒の地で、おおしく  
働く聖徒たちを旭川支部に訪問  
しました。文章を綴るのは支部  
長の安田琢三兄弟です。

ウが活躍を始める。神権者たちが灯油ス  
トローヴを持って、階段を昇ったり降りた  
りする姿が見られる。支部長が支部予算  
の不足を痛感するのも、この時である。  
旭川の冬は、どえらくシバれる。あれ  
よあれよという間に、マイナス三十度位  
まで下ってしまうことがある。昔は飛ん  
でいたはずだが、シバれて落ちたという

ことがある位だ。寒中に川でバプテスマ  
を行なったことも何度かあるが、受ける  
当人よりも見ている者がぶるぶるふるえ  
出すことが多い。今は煤煙と人口増で、  
二、三度は気温が上っているというから  
やはり時の流れである。

旭川では、札幌の雪まつりにならって  
毎年この二月頃に「冬まつり」が行なわ  
れる。見上げるばかりの雪像や氷の像が  
いくつも作られて、多くの人が集まって  
北海道の冬の単調さを幾分でも和らげよ  
うというのである。二、三年前の冬まつ  
りに、支部の宣教師たちが計画して、ソ  
ルトレーク神殿を模して雪像を作り、出  
品したことがあった。素人とは思われな  
い見事なできで、集った人々の好奇の目  
をひいたものだった。

市の西側にあたり、住宅地に接して、  
教会の土地がある。約三百五十坪と少々  
狭いが、交通の便などの立地条件もよく  
教会堂用地として絶好の場所である。我  
々の希望は、一日も早くそこに教会堂が  
建てられて、より完全なプログラムが実  
施されることである。

## 北辺の地に住むモルモン

旭川から急行で五時間半、北海道の東  
端に人口約十七万人の釧路市がある。こ  
の十七万人の人々に混って、六人のモル  
モンが生活している。その中核をなすの  
は、長老の遠藤兄弟とその家族計四人。  
教会のある土地から遠く離れてポツンと

暮す淋しさは、経験のない会員にはよく判らないだろうが、本当に耐えられないくらいだ。しかし今では毎週少人数ながら日曜学校を開き、聖典やテキストをひもといている。そして多くの困難を克服して彼ら家族も神殿訪問の機会を持つことができたのだ。試しを乗り越えて、モルモンとしての生活を守ることのできる者こそ、ほんものではなからうか。

釧路以外にも熱心な会員たちが、あちこちに点在している。彼らの消えそうな小さな灯を、どうか多くの人々の助けによって、守っていききたいものである。

### 福原兄弟姉妹のこと

旭川支部にとって開設以来の会員であ

り、今もなお他支部にありながら、精神的な支えとなってくれている、福原兄弟姉妹を忘れることはできない。支部長に就任し四年後、渡米のためバトンを安田兄弟に委ねた兄弟は、帰還後間もない一昨年札幌に転任となった。今は地方部評議員として、月一回は必ず支部を訪れ、強い信仰と証詞を披露して、支部の会員たちを励ましている。

彼が支部に残したものは数多いが、特に支部の特色として育ったものとして、二つが挙げられよう。一つは福音研究に関する会員の熱意である。開設以来長い間続けられた福音研究会は、別に珍らしいことではないが、ここ二、三年は一寸変わった催しをしている。昨年は夏休みの

時期に合わせて約二週間程、地方部の指導者たちが交替で支部を訪問、毎日昼と夜の二回各三時間程、いろいろなテーマに基づいて講演を行ない、多数の会員の参加を得た。今年も同じ頃、今度は会員たち約三十人にテーマを与えて、三十分から一時間の公開レッスンをこなして、各自がいわば福音の総復習を行なった。このようにして、会員たちの中では福音の研究が盛んに行なわれ、着々と成果を収めつつある。

もう一つはコーラスである。福原兄弟の跡を引継いで、今年音楽の先生として巣立つ大学生の山田姉妹や、オルガニストの鈴木姉妹が、毎週日曜日の集会後全員を対象として、約三十分程コーラス練習のタクトを振っている。この積み重ねが、毎地方部大会での美しいコーラスに発展するのである。

### 現支部長会は

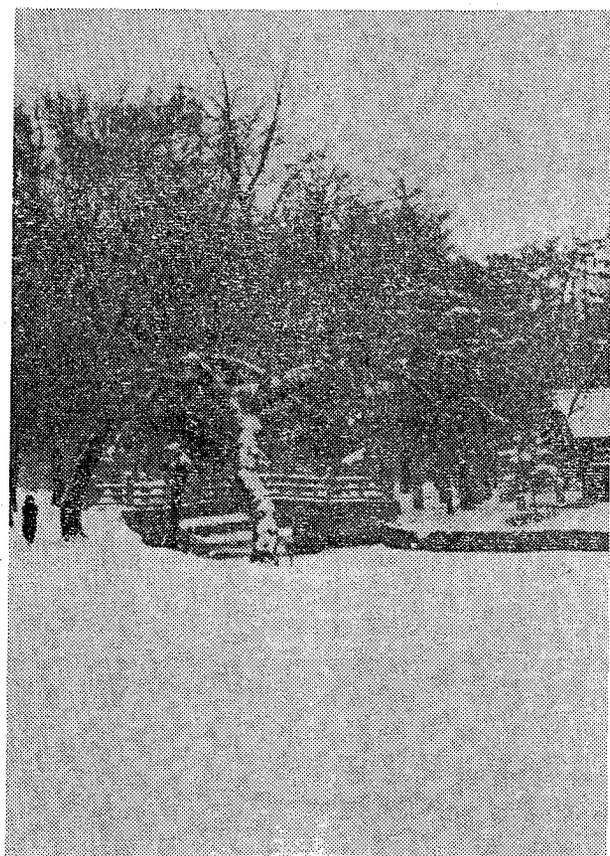
#### 平均年齢三十才以上

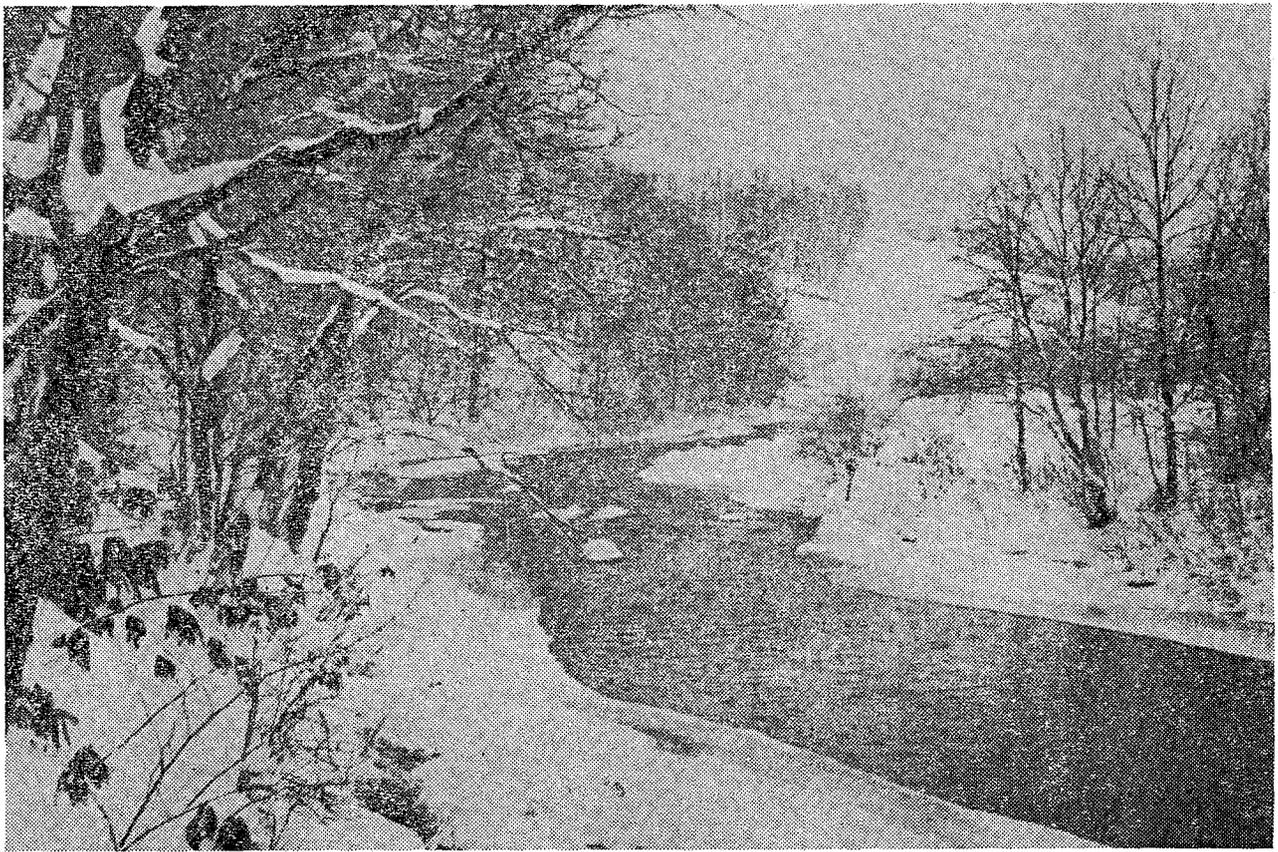
支部長会は、支部長(三十四才)、第一副支部長(二十八才)、第二副支部長(二十九才)と、四年半来不動のメンバーである。平均年齢が遂に三十才を越えたことは、支部長会が青年期から壮年期に移ったことを意味して興味深い。それぞれ家族持ちで、しかもちゃんと神権者の卵を揃えているのは、彼らがいかにモルモンとしての計画性に富んでいるかを示して、面白いではないか(？)

各組織の役員教師はほとんどすべて社会人で占められ、学生は一掃された。といっても別に学生を無理に辞めさせた訳ではない。彼らが学生から社会人へと成長してきたのだ。

他の多くの支部にも共通していることだが、当支部でも他聞にもれず、地方都市の悩みというのがある。毎年のように大都会に流出する、多くの有望な神権者たちのことである。しかしここ一、二年はその現象もやや下火となった。就職事情の変化もあろうが、神権者の大半が社会人となっているのが最大の原因である。

純真な学生たちが、教会において指導者として真剣に活動しているのは、一見好ましいことではあるが、卒業就職などによる移動、年令に伴う心理的動揺期などの諸条件は、支部にとって常に不安定な状態をもたらす。周囲の他の会員にも悪影響を及ぼす。支部の組織が学生たちの手から社会人へとバトンタッチされる時、将来の急速な発展が約束されるのである。ちょうどロケットやジェット機が、音速の厚い壁を破り、あるいは空気が圏から真空地帯へと突き進む時、急速にスピードを増すように、長かった学生指導者時代から社会人指導者時代への転換は、支部にとってこれからのより確実な進展を約束するものだ。神権者たちが定着し、教会の諸活動が安定してきたのは支部にとって何よりの強みである。旭川





支部も漸やくこの段階に到達したわけである。

### 活発な神権定員会

旭川支部の一週間は、日曜日の神権会から始まる。午前九時から十時迄で、九時半から十時半迄子供日曜学校が開かれる。追いかけるようにして十時半から日曜学校を開く。この辺は教室の少ない悩みから生じた苦肉の策というところ。正午から一時迄の聖餐会の後は、三十分程コーラス練習が続く。二時から三時迄と三時から四時迄とは、各補助組織の指導者会や、地方部指導者による各種の勉強会で埋められる。

月曜日の夜はMIA、水曜日の夜は日曜学校の、各役員会が開かれる。火曜日の夜は扶助協会と併行して、六時から支部長会、長老定員会と続く。木曜日のMIAは午後六時半から。土曜の午後は掃除会、夜はアロン神権定員会が開かれる。

ざっとこんなところだが、このうち神権定員会の活動について一寸触れよう。市内在住の長老は五人、少ない人数だが火曜の夜は大たい皆集まる。一時間半程の集いだが、前半を勉強に、後半を活動にとあてている。勉強は毎週交互に、指導者プログラム、レッスン、教養講座と分れていて、教師をそれぞれ定め、皆真剣に勉強している。後半の活動は、教会堂整備と会員訪問のいずれかである。アロン神権者の模範になるようにと、スト

ーヴの手入れやら、物置の片付けなどがんばる。会員訪問はあまり出席しない神権者を中心に、二組に別れて出かけるのである。アロン神権者もこれに負けじと、同じようなスケジュールで努力している。長老の家庭の手伝いをしたり、教会の土地の手入れをしたり、また勉強会も開いている。どうか一日も早く長老となってほしいものだ。

メルケゼデク神権者。それは単なる教会の役職ではない。自らの生活の中に、はっきりとモルモンとしての自覚を位置付け、もはや支部長を悩ますこともなくむしる積極的に会員を勇気づけ、そのよき影響を与えるものでなくてはならない。職業と家庭と教会との、三つの場のバランスをよく保ち、社会的にも人格的にもより成長し続けなければならぬ。しかしとりわけ彼らにとって必要なのはメルケゼデク神権者同志やその家族との強いつながりであろう。

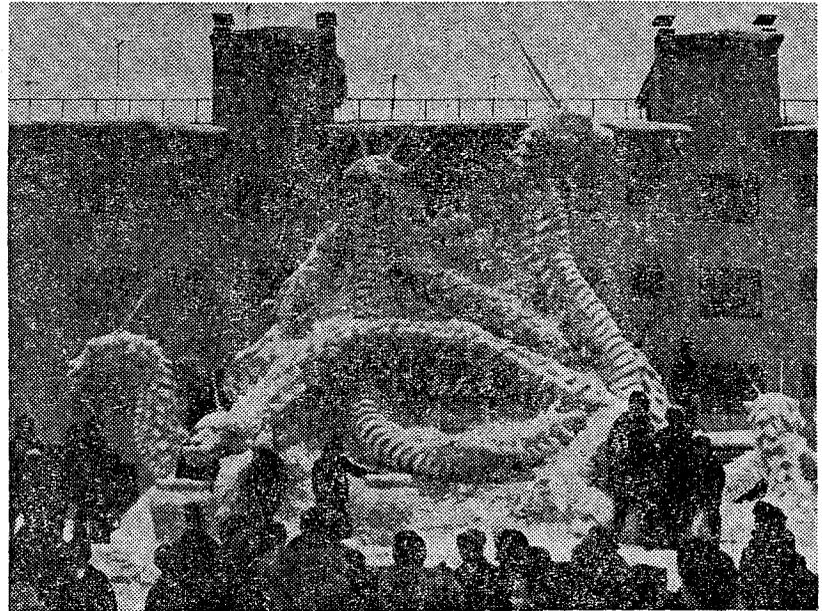
### 着実に発展

旭川支部のあらゆる記録、即ち献金額出席数、神権昇進、地方部大会出席数、会員の構成等を検討しても、また一人一人の進歩の度合、証詞の強さを見ても、十年前とは比較にならない程進歩していることが判る。歩みは遅々としているかのようにも、年毎に着実に発展しているのである。決してこのことを忘れてはならない。

最後に、支部の年中行事の一つとして毎年一、二回郷土祭や国の祝祭日に合わせて行なっている、食事バザーの模様を紹介しよう。

先ず年頭の支部長会で日程を決定する。昨年六月四、五の両日と、十一月三日の二回が決められ実行された。今回は十一月三日のその紹介である。実施期日の二か月前に再び支部長会で、準備の分担と売上予定額などの細目が決定される。調理は扶助協会、会場はメルケゼデク神権者、給仕はエンサイン・ロールクラスから、会計は支部長会と、それぞれ役割がきまっていたが、今回は神権者の中に、小倉兄弟というかし製造の経験者があるので、彼を中心にアロン神権者たちがサンドウィッチの調理を委せられる。品目は従来の経験と季節、流行などを考慮して、扶助協会で決められる。扶助協会々長の一条姉妹を中心に、役員たちが鳩首協議し、品目や分担がきめられる。

一方支部長会では、売上予定額を七万円、利益三万五千円を見込み、材料費は売上高の四十五%と予定する。そして食券を注文し、配付方法を検討する。食券の配付は会員と宣教師を中心に考える。食券は各種一枚づつを一セットとし、会員の従来の実績・社会人が否か、交友範囲、住所などの諸条件を考慮して、配付能力を想定し、これに応じて一セットから五セット迄の五組のいずれかを委頼す

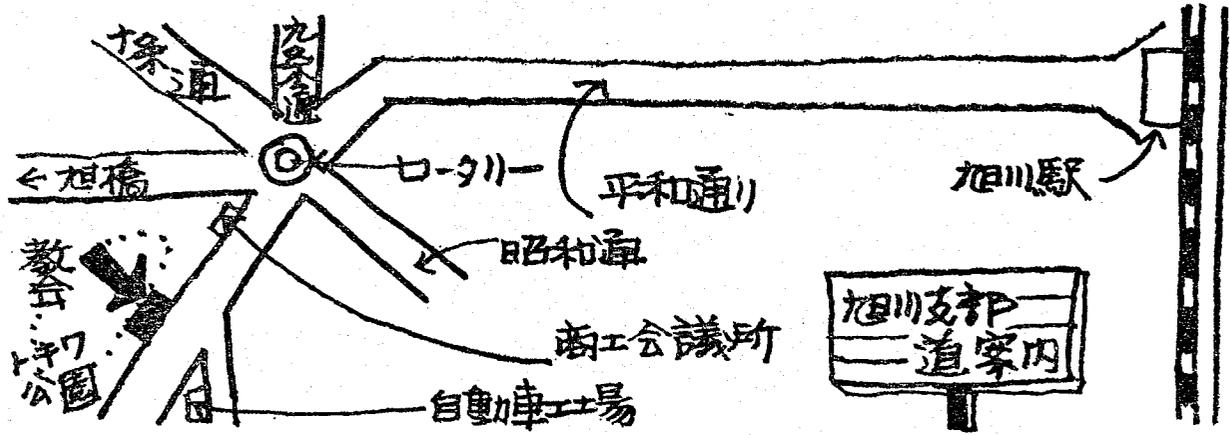


旭川の雪祭の模様

ることとする。この外に、地方部非専任宣教師の三浦・三上両姉妹を含めた宣教師たちによって、教会堂を中心とした周辺の家々に、食券を戸別販売することも計画される。このようにして食券が会員たちに委託されるのは、バザー当日のおよそ一か月ぐらい前である。宣教師たちの戸別訪問は、バザーの数日前に、一日か二日で集中的に行なわれた。

バザー直前の日曜日、集会に参加した会員たちより、食券の精算かまたは売上予定額や売れそうな品目などのアンケートを求め、その結果から類推を行なって売上予定額を修正する。売上予定額は六万円に修正された。この売上予定高から各品目の数量も推定され、早速これに基づいて材料の仕入が行なわれる。既に材料の種類については、扶助協会の役員会等で決定済みなので、数量がきまれば直ちに発注される訳である。このようにしてバザーはもう当日を待つばかりとなる。とは言え、神権者によって物置が整理さ

れてストーヴが据えつけられ、会場のいっしょは礼拝堂であるホールには、借り物のテーブルが持ち込まれて適当に配置されている。扶助協会は各責任毎に準備に入っているが、少なくとも前日から調理に掛かっている。かくて食事バザーの当日を迎えるわけである。当日の模様についてはここでは割愛するが、唯その収支の決算と、品目毎の原価内訳を別表に示す。少しでも御参考になれば幸いである。



編集部から  
旭川支部のみなさん、二月といえ  
ばまだまだ春に遠い季節、さぞぎび  
しい条件のもとで、教会活動に活発  
な働きを示されていることが、手に  
取るようにわかりました。原稿を書  
いていた安田支部長ほんとう  
にありがとうございます。支部の  
ご発展をお祈りしております。  
全国のみなさん後読感をお寄せく  
ださい。



### 食事バザー収支決算表

品目	売上高			予定原価		実際原価		利益	担当者
	個数	単価	金額	個数	金額	金額	% (対売上)		
ラーメン	112	70	7,840	110	3,465	3,155	40	4,685	笹本, 近藤, 佐々木
うどん	94	50	4,700	90	2,025	2,500	53	2,200	島崎, 梅原
しるこ	131	40	5,240	110	1,980	2,360	45	2,880	増田, 田中, 三浦
串だんご	164	60	9,840	140	6,440	8,050	82	1,790	山地
サンド ウィッチ	154	80	12,320	140	5,040	5,276	43	7,044	小倉他神権者, 安田
ちらしずし	159	80	12,720	140	5,040	7,126	56	5,594	一条, 池田, 山田
フルーツ サンデー	123	60	7,380	130	2,810	3,300	45	4,080	沢田, 三上
その他雑収支			3,410			7,084		-3,674	
合計			63,450			38,851		24,599	

旭川支部バザー決算書

実 際 原 価 内 訳

ラーメン			うどん			サンドウィッチ		
肉	1.5kg	900	玉うどん	100×¥12	1,200	パン	20本	2,000
骨	3 kg	150	煮 干		230	いちごジャム		600
支那竹		200	フレーブ		195	い も	9kg	225
ロード		300	醬 油	3.6 l	340	玉 ね ぎ	9kg	360
生しょうが		50	かきあげ		315	人 蔘	2.5kg	100
長 ね ぎ		65	ツ ト	6	150	り ん ご	5こ	91
醬 油	1.8 l	170	長 ね ぎ		70	き ゅ う り	1kg	120
ラーメン玉	120×¥11	1,320			2,500	た ま ご	20こ	300
		3,155			1人分 27円	マヨネーズ	1.6kg	555
	1人分	28円	フルーツ・サンデー			コンビーフ	4缶	560
<u>しるこ</u>			旭りんご	9kg	630	マーガリン	15本	345
つぶしあん	5 kg	800	な し	8kg	480	洋からし		20
砂 糖	5 kg	600	ぶ ど う	20房	340			5,276
新 砂 糖		45	か き		520			1人分 34円
のしもち	2 升	540	アイスクリーム		800			
あ ん	1.5kg	375	パイン岳	10こ	500			
		2,360	つまようじ		30			
	1人分	18円			3,300			
1人前 { あん 40g 砂糖 40g もち 2切			1人前 { りんご 1/4こ なしか 1/6こ クリーム 1/4こ パイン 1こ ぶどう 1/2少		1人分 27円	1人分 { ジャム 1枚 サンド 2枚 コンビーフ 1枚 玉ねぎ 1枚 カレーいため		

旭川支部バザー決算書

ちらしずし		雑 支 出		雑 収 入			
米	21kg	2,321	テーブル掛	950	アイスクリーム売上他	3,410	
折 箱	100こ	900	た わ し	50			
しいたけ	10袋	900	ライボンF	270			
の り	20枚	300	クレンザー	56			
干びよう	420g	150	石 け ん	56			
すしあげ	40こ	280	食 塩	20			
紅 生 が	5こ	190	割 ば し	550			
卵	20こ	300	旭 味	350			
ナ ル ト	6こ	180	こ しょう	7こ	266		
醬 油	1.8 l	170	なんばん	7こ	161		
砂 糖	3kg	360	砂 糖	2 kg	240		
麦 茶		40	マーガリン	5こ	115		
ミツカン酢		240	アイスクリーム	1,500			
ソ ボ ロ		90	食券印刷代	2,500			
追加材料		705		7,084			
		7,126					
	1人分	45円					
<u>串だんご</u>							
注 文 品	700本×11.5円=8,050						
	1人分	46円					

旭川支部バザー決算書

# 北から南から.....

支部だより

## 支部だよりのページです

## みんなで利用しましょう

支部だよりは編集部に直送して下さい

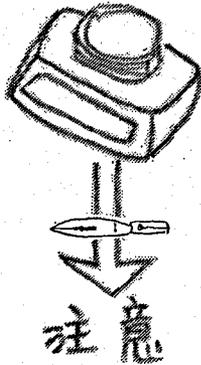


今のところ「聖徒の道」の原稿の集め方に二通りあって、一つは伝道部長から地方部長に、そして執筆者にと筋を通して原稿が依頼されるものです。そして他の一つは直接編集部に寄せられるものです。

支部訪問とか、特別な証詞、プログラムの説明などは前者に属しますが、そういう径路をたどっていると、記事の内容が時間的にズレてしまうものがあります。例えば支部内でのニュースのようなものがそれに当たりますが、そういう原稿はなるべく早めに編集部へ直送していただくこととなります。

しかし、誰が、何を、書くかは、各支部におまかせすることにしても、そこには一定のルールがあります。それを守ってくだされば、誰れが何を書いてくださっても結構なわけです。それではその注意点について次に述べます。

書くまえに次のことに注意してください



実際に執筆していただく方にお願いがあります。

一、送る前に必ず支部長の承認を得ること。  
かんたんに支部だよりといっても、それは支部の公式なニュースになりますから、編集部に送られる前に必ず支部長の承認をいただくようお願い

いたします。

二、支部ニュースであって論文でないこと。

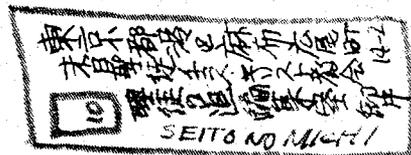
ニュースを伝えるわけですから、できるだけ客観的な考え方で原稿を書くことが必要です。主観を入れた論評は、原稿整理の段階でカットさせていただきます。

三、なるべく原稿用紙をお使いください。

これはそれほど厳格なルールではないのですが、私たちの時間と手間をはぶくためと、各支部にスペースを平等に分配するためです。明確に、正しい字を使うことはいまでもありません。

四、パプテスマと神権昇進者の名簿を必ず入れてください。  
伝道本部だよりをごらんになっ  
ていてお気付だと思いが、みな片カナで書いてあります。それは、伝道本部から出されるレポートがすべてローマ字でタイプされたものだからです。

カナ書の名前はなんとなく、冷い感じがしますし、自分がか外国人になつたような気が持たえます。そこで支部だよりに名簿を入れていただけたら、その心配もなくなります。そしてできたなら、その人を紹介する文章まで入れることができたなら、更によいわけです。



送り先は伝道本部です

東京都港区麻布広尾町

十四—二

末日聖徒イエス・

キリスト教会

「聖徒の道」編集部

## 特別読物

## さいわいである



山田五郎(第二副伝道部長)

聖書を開くと、どこを読んでも救い主イエスの偉大さとその教えに心を打たれる、そして胸の中にどこからともなく新しい勇気が湧いて自分の行いを反省させ、あるべき姿に正す不思議な力を持っている。誰れにでも理解できるようにイエスは単刀直入そのものづばりを説いた。誰れにでも実行できることであり乍ら反対に誰れにでもできるものではない。イエスはおびただしい群衆が従って来るのを見て山に登り座につかれて教えた最初の言葉は「さいわいである」で終るいわゆる八福の教えでした。山上の垂訓と言はれるこの山での教えは、昔も今も人の心を高く引き揚げ、せまくてけわしい道をまっすぐ進むことができるよう

に道しるべの一つとしてくださった。しばらくしてからイエスは八福の教え八つの「さいわいである」にもうひとつのさいわいであると付け加えられた。「わたしにつまづかない者はさいわいである」(マタイによる福音書十一・六) 私たちは何時でもつまづきものに出逢うと、さけるよりもむしろ受け入れてしまう態勢にある点に問題がある。敵のためにつまづき、友人のためにつまづきあるいは慰人につまづき、そして環境にも、はたまたなんと私たちは神にさえつまづくことがある。私たちの上には常に種々さまざまな危険がふりかかって来ますがこの「つまづき」なるものは最も危険なものの一つといえる。第一にこのつまづきに

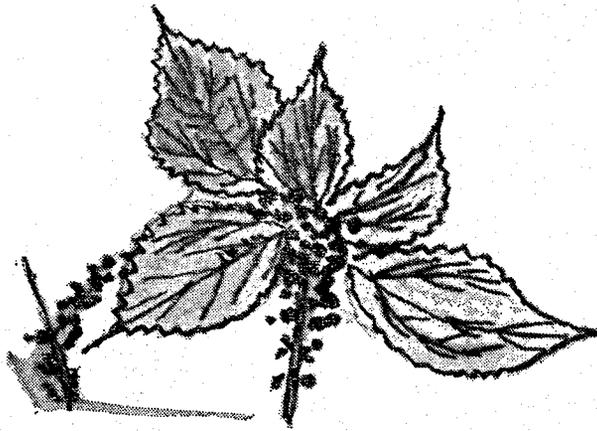
対して無防備であり何時でもどこからでも容赦なく私たちを犯す。第二にいったん犯されるとその間私たちは理性を失い体の通常な精神を麻痺させ自制不能に陥込ってしまう。

最後の晩餐をすませてからイエスは弟子たちを連れてオリブの山へ出かけて行った。そのとき、イエスは弟子たちにいわれた。「今夜、あなたがたは皆わたしのためにつまづくであろう」(マタイによる福音書二六・三三) ペテロはこの言葉聞いて驚きそんなことがあるはずがないとばかりに反論して「たとい、みんなの者があなたのためにつまづいても、わたしは決してつまづきません」と言った。イエスはいわれた「よくあなたに言っ

特別読物

ておく。今夜、鶏が鳴く前に、あなたは三度わたしを知らないと言うだろう。懸命な反論にもかかわらずイエスの言われたこの言葉を聞いたペテロのショックは察してあまりあるものがある。

何んと言われてもペテロはイエスを否み知らないと言って口にしようとは信じて起ろうと、どんな境遇にあおうとも決してまようことはないと固く信じていたの



で「たといあなたと一緒に死なねばならなくなっても、あなたを知らないなどと決して申しません」と言った。面白いことにマタイはこのありさまを描いて「弟子たちも皆んな同じように言った」と記

している。

そうこうしている間にイエスは敵の手に渡され、おそろしく長く感じられた裏切の夜がやって来た。裁きが始められ、予言の言葉のように羊飼いが打たれると、羊たちは散ってしまったがペテロだけは他の弟子よりも少し勇気があったのか、おっかなびっくりで大祭司の庭へ連行されたイエスのなりゆきを見とどめようと中庭ですわっていると、ひとりの女中がペテロのところへきて「あなたもあのガリラヤ人イエスと一緒に言った」と言った。するとペテロは、みんなの前でそれを打ち消して言った「あなたがなにをいっているのか、わからない」。そう答えて言ったもののペテロは自分の言葉に責められてか人々にとがめられない所へ行つた。しかし出口のほうにいたほかの女中がペテロを見て、そこにいる人々にむかって「この人はナザレ人イエスと一緒に言った」と言った。そこで彼は再びそれを打ち消して「そんな人は知らない」と誓って言った。しばらくして、そこに立っていた人々が近寄ってきて、ペテロに言った「確かにあなたも彼らの仲間だった。言葉づかいであなたのことかわかる」彼(ペテロ)は「その人のことは何も知らない」と言って激しく誓いはじめた。するとすぐ鶏が鳴いた。ペテロは「鶏が鳴く前に三度わたしを知らないと言うであろう」と言われたイエスの言葉を思い出し、外に出て激しく泣いた。

ペテロはどんな境遇に逢おうとも自分は常々思っていた通を振舞うことができると考えていたがこのような結果になるうとは夢にも思わなかった。最も主に近い弟子たちでさえつまづくとなると、私たちはどうなんでしょうか。弟子たちはイエスがゲッセマネの庭で祈りをしてい

る間でさえ目を覚ましていることができず、またイエスが捕われた時は、マタイの言葉を引用すると「その時、弟子たちは皆イエスを見捨てて逃げた」(マタイによる福音書二六・五六) 私たちに知らされてい

る。どうであろうと「つまづき」は大きな問題として残る。そのために自分が転ぶ

# 特別読物



かまたは誰れかを転ばせてしまうからだ。使徒パウロがコリント人へ送った手紙を読むと「しかし、あなたがたのこの自由が、弱い者たちのつまづきにならないように、気をつけなさい」また「このようにあなたがたが、兄弟に対して罪を犯し、その弱い良心を病めるのは、キリストに対して罪を犯すことなのである」(コリント人への第一の手紙八・九ノ十二) 何人といえども他の人をつまづかせることがどんな重大な意味を持つかと説かれた時ちょうど子供たちがイエスをとりまいていた。「しかし、わたしを信ずるこれらの小さい者のひとりをつまづかせる者は、大きなひきうすを首にかけて海の深みに沈められた方が、その人

の益になる」。

つまづきは単につまづかせるのみならずここで犯す大きな誤りは、つまづきを受け(つまづく)ことだ。まったく馬鹿げた小さなことにさへ容易につまづき罪を犯してしまう。そしてひとたびつまづいた者になってしまうと全力をつくしてつまづき救いを失っても立ちあがれないのが普通であろう。

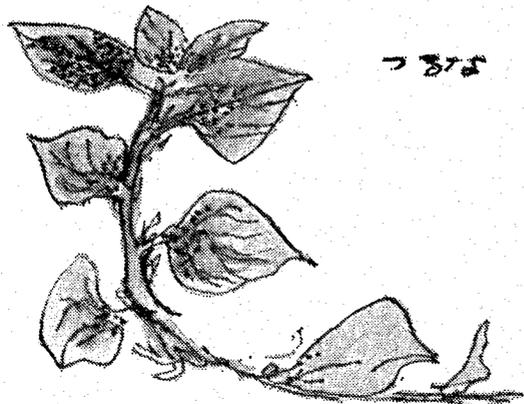
不活発になった会員と話したことのあつた人は知つていようが彼らが不活発になつたのは教義そのものが信じられなくなつたと言ふ人は例外を除いてほとんどない。理由としてあげられるものは、感情を害された、とかあるいは誰れからも相手にされず認められないとかまたはある人を好まない、ある個人の行為が気に入らないなどである。これらのつまづきものは目に見えない程小さなものでありますが祝福を台なしにしてしまう原因となる。傷つき易い柔かい心を作るとあるいはそういう方向に行くとき、私たちは非常に危険な状態になる。

時として責任てんかんのために機会をうかがい誰れかが何かをしでかきつけを作ってくれるのを待つことさえある。皆んなが自分に関心をよせ優待してくれないと言つて教会へ行くのを止める口述にしたり、あるいは支部長は思う程なすべきことをしてないからと言つて什分の一を払うのを止めたり支持しなくなつたりする自分を正当化して理由づけ祝

福を失つてしまう。

通常、自分のことはたなの上へ上げて他人には最も完全に近い姿を要求するがもし反対に自分の行いを問はれたらつまづいてしまう。

昔、武士道華なりし頃誇り高き侍たちは一寸したことが原因で、足をふんどとか水をかけたとか、果し合ひ、いわゆる挑戦とそれを受けて立つ決闘が行なわれた。が気の短点においては今の私た



ちも勝るとも劣らない。何かによりつまづきあるいはつまづかなくとも愚かな誇りを保とうとしてお互いに己れの刃で共倒になつてしまう。

人によってはめんつを保つために一生

## 特別読物

懸命となり生命とひきかえても言う人さえある。

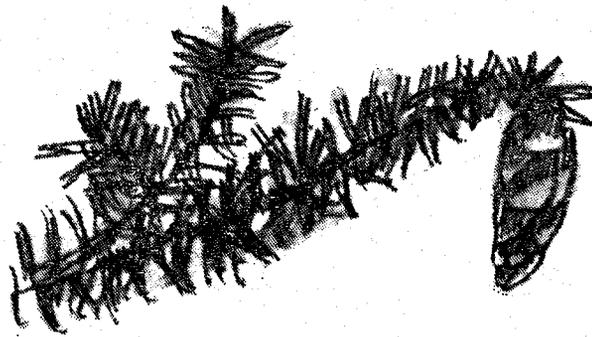
面つを保つと言うことは人をつまづかせる原因の中で一番多く最も一般的なもののように見うけられる。イエスはこの問題に対して「もしあなたの片手または片足が、罪を犯させるなら、それを切つて捨てなさい。両手両足がそろつたまま、永遠の火に投げ込まれるよりは、片手、片足になって命に入る方がよい」と言われた。永遠に締めだされて命を失うより、ちっぽけな面つを失つた方がよい。面つと言う実にやっかいな誇りは手や足もたらす災いを合せたよりもっとやっかいである。

面白く思うことは人間や他の高等動物は創造された時から体を支える骨は体の中に入っている。と言うことは最も傷つき難い体の部分は保護され、最も傷つき易い部分が危険にさらされている。

創造主は海老や貝や亀等には外側に堅い被いを与えられ傷つき易い弱い部分その中にしまわれた。傷つき易い柔かい心の持ち主は亀の貝であった方が良くも知れない。と言うのは危険がせまってきたら手足や頭を隠して安全を保つことが出来るからだ。

ある時ジェフアン大統領はリー將軍に一人の將校の昇進について意見を求めた時、リー將軍はこの將校を褒め推薦した。將軍の友人の一人がリー將軍の手を引いて部屋のみすみへ行きこの將校は將軍

に対して良からぬことをいっていると忠告すると、リー將軍は「大統領は私の意見を求められたのであって將校が私に対する気持を聞いたのではない」答えた。誰れもがこのように公平さを保つことができれば偉大な人物になれることは間違いない。



つかい

が働かなくなっていた。つまづきは前途が見えないようにする、ひとたびつまづきものに心を奪はれると全く愚行に走りやすくなる。

人間だけが自ら行いを反省し進歩をなすことができ己れの状態を改善できる。牛は生まれ乍ら牛としての能力を全部持つ、鳥は玉子から出てくるとすでに鳥であつて鳥として到達しうる限界があり決してそれを越えることができない。しかし人は特別に恵まれて己れを正しより進歩（自分自身の改善）する特権を持っている。この特別な祝福が私たちを悔い改めさせる。しかし理性や自制を失はせる小さなつまづきものを受け入れるとこの大きな力（祝福）も水の泡と化する。ということはどうも少し注意を払い自分を護ると海老や貝のように固い守りを持たねばならない。そして共につまづかない、つまづかせないようにして皆祝福を受けようではないか。

『つまづかない者はさいわいである』

カインは主が捧げ物を受け入れてくれないからと言って怒りつまづいた。主は理由を説明して「汝、もし善きを行わば受け納れらるるなり。もし善きを行わば、罪門口に伏しサタンは汝を得んと欲す。汝が誠命に聞き、従わずばわれ汝をわたさん。さらばサタンの望みに従いて……」。(モーセの著五・二十三)しかし感情を害したカインにはすでに理性

# 私は信ずる

若い日のために

東京南支部建築宣教師

木本忠夫 長老

みなさまがすでに知っておられるように神様はこの世にある全ての物を作りになりました。全ての光、天そして地、海と陸地、全ての植物、動物、その他数えればきりがありません。そして六日目に人類最初の人アダムそしてイヴもお作りになりました。私たちの回りにあるすべての物をお作りになりました。そしていつも私たちが本当に愛して下さる方に誰が顔をそむけたり、背を向けたり出来るでしょうか。そんな考え方（まだ他にもありますが）から私は神様から命じられた事、又神様から与えられる仕事ならいつでも、どんな事でも一番にやろうと決めました。これは私たちの持っている目的に向う一番の方法であると確信しています。

わが子よ、忘れずに青年の時智恵を得よ。青年の時から神の命令を守る事を習慣とせよ。

汝の要する一切の助けを神に祈り求めよ。何事もすべて主のために為せ。どこへ行くにも主のために行け。常に主を念頭に置いて心の愛情をこしえに主へ向けよ。

アルマ書三十七章三十五・六節  
例ばある人が支部長から一つの責任を与えられる時「私にはそれをする時間がありません」あるいは「私にはその責任は大きすぎます」又「私にはその責任を受ける資格はありません」と答えたとしたらどうでしょうか？ その人はきつと神様から選ばれたしもである人から与えられたもの、すなわち全能の父なる神様から与えられた責任を拒むということがその人にとっていかに大きなマイナスになるか、またそれがどのような罪であるかを知らないのに違いありません。それにもう一つバプテスマを受けた時、神様と交わした誓約に背を向けたという事など多くの損失があります。またその人に向けられた多くの祝福を失ってしまったのです。「常に主を念頭に置いて心の愛情をこしえに主に向ける」ということがどのように素晴らしいう事であるかと思う時、私の心

はおどります。

もう一つこの聖句を読む時にいいなあとと思う所は「青年の時に智恵を得よ。青年の時から神の命令を守る事を習慣とせよ」という所です。新しい年を迎えて自分がまだ本当に若いという事を思い、そしてまた新たな希望にファイトが心の中に湧いて来るのを覚えます。今日の日本における私たちの教会で見られる一つの現象として若い人がたいてい多いということがあります。私もその中の一人ですがこれは教会にとってあるべき理想の姿ではないと思う。しかし逆に考えると若い人々にはこの聖句を見出すべき大きな門が開かれていてと云えます。つまりその人々が神を知りそしてより多くの智恵を身につけ、まったく正しい習慣を身につけるべき大きなチャンスを一一人一人が持っているということなのです。しかしそのチャンスはただ持っているというだけでは猫に小判、豚に真珠をやるのと同じでそれをフルに利用し且つ、よく努力しないならその価値は無に等しい。教会の中の若い人たちがしばしば入れ変わるという状態が見られるが、その人たちはこの聖

句をもう一度思い起こしそしてはやく気が付き教会から去って行く事のないようにしようではありませんか。そうしている間に教会は理想的な姿になって行くのだと思います。一生そして永遠に神様と共にいたいものです。

いかなる事でも、たとえそれが死を意味しているかもしれない、でも主の命じられる事を行って行おうではありませんか。主は命じられたことに対して私が責任を持つとおっしゃっています。

汝らわが言うところを行わば、主なるわれこれに対して責任あり。

教義と聖約八十二章十節  
また、汝らもしわれを信ずるなら、わがこころにかなう何事にも為す力を与えらる。

モロナイ書七章三十三節  
また、私は主が命じたもうたことを行って行く。私は、主が命じたもうことには、人がそれを為しとげるために前以ってある方法がそなえてあり、それではなくては、主は向の命令をも人に下したまわなり事を承知しているからである。ニーファイ第一書三章七節

(一九六二年度MIAのテーマ)

私は神様がそしてイエス・キリストが生きておられるということをお聞きしています。末日聖徒イエス・キリスト教会が神様のただ一つの教会であり、その教義によらなければ私たちに栄光はありません。

どうか皆さんも今年一年間を本当に有意義なそして自分を大きく進歩させる年にして下さい。

誰れにもまげることの出来ない真理がそこにあります。そして栄光に続く道も、ボヤボヤしている暇はありません。私たちにやるべき事は沢山あります。

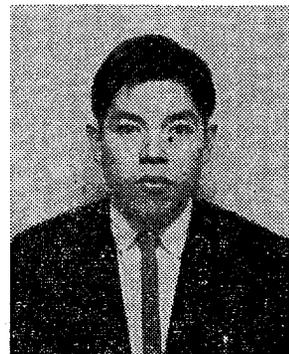
全ての末日聖徒のために平安と恵みがありますように心からお祈りしています。

ほんとに良かった

東京南支部建築宣教師

西 銘 務

その日は日曜日でした。一通のハガキが僕の兄さん宛に私の家に届きました。そのハガキの内容は、早く僕の兄さんに見せ



なければならぬ大切なものではない。彼はすでにこの教会の会員だったので那覇支部の集会に出席していましたが彼は私にも僕たちの家族にも誰れにも、自分は今モルモン教会に通っているなどと言も話してはいませんでした。僕たちの家族は宗教に関してそんなにやかましくもなくかえって両親が信仰を持っていないので自由です。それで二年程前まではモルモン教会を知りませんでした。私はそのハガキを持って兄さんに渡すためにモルモン教会を訪問しここを知るチャンスがあった訳です。その日からこの教会は僕を建築宣教師にさせるまで、こんなに毎日の生活が楽しいものと感じられるまでに変化させました。今では兄弟八人のうち五人がモルモンで、妹と弟は私がバプテスマをほどこしました。でも肝心なお父さんお母さんがまだ会

員でないことが気にかかりました。今まで何度か集会や大会に出席してくれましたが、まだ本当に真の教会だということに気が付いていません。両親は家の仕事で毎日忙しく働いています。月に一度だけ休日があります。その日をみはからって僕は両親にこう言います。「第三日曜日は休みだね。それで僕少しのんびりしたいことがあります。父ちゃんと母ちゃん、二人で教会に来て欲しいの。日曜学校に出なければ十二時から一時までの集会に出席して欲しい。たった一時間だけでいいですから是非来てもらいたい。毎週はちょっと無理だから月に一度だけ、しかも一時間だけでいいですからお願いいたします」こうして数回頼んだことがありますけれども、なかなかむづかしいらしく思うようになりません。だけど近いうちに必ず、モルモンが如何に正しいか。またどうしても僕たちにとってはなくてはならない教会であることを判ってもらって、両親がバプテスマを受けるように努力します。僕が建築宣教師になりたいと両親に話した時に心よく賛成してくれました。「今は訓練の時期だから、自分

で正しいと思ったらどこまでもやり通しなさい」とすぐく理解のある両親です。だから、父さんと母さんがモルモンになったら、どんなにか楽しい毎日が過せるか判りません。建築宣教師になってからよく家族のことを考えさせられました。やはり両親と離れて生活すると、両親が健在で、僕たちのために働いてくれることは本当に感謝しなければいけないとつくづく感じました。家族全員がモルモンでなくても、普通の家庭でも毎日が楽しくて、会社が終り、または学校が終って家に帰るのが楽しくな方法を僕はこのモルモン教会から学びました。それは家族の夕べを持つことです。色々皆の意見を出し合って、悪い所をどんどん改善する訳です。自分の悪い所を指摘されたり、良い所を誉められたり、また自分の責任をはっきり決めてもらうと、それを行うのに楽しくなります。私たちの教会は家族についてよく研究し、またよい指導者によって正しい生活方法を学ぶことが出来て、本当に建築宣教師になってよかったです。す。

家族の夕ベテキスト

(第四課つづき)

第五課

家族活動の時間

「家族の夕」テキストの製本がおくれていますからその間聖徒の道に掲載します。

どちらの回答も真実でありま  
す。けれども一つは貴方がその  
責めをとり、他の一つは、貴方  
は誰か他人を責めているのであ  
ります。生じた事に就て実際に  
責められるべき人は貴方です。  
何故でしょうか？（貴方はぬか  
るみのふちを歩かないようにと  
言う両親の忠告を無視したから  
であります。）

この説明は如何なる年令の人  
にも通用します。ぬかるみは十  
代の又は成人にでもその不注意  
な又はかしくない行為に象徴  
されるでしょう。貴方はもしよ  
ければこの二、三日中に貴方自  
身の家族の中に起った事で貴方  
がその過ちを自覚することを学  
ぶに長期を必要とすることを示  
す同様の点を説明してもよろし  
い。

貴方自身続けて改善する必要  
のあることを貴方の家族の前に  
正直に認めなさい。貴方が貴方  
自身の行為に全責任をとる習慣  
を身につけようと願っているこ  
とを彼らに感じさせなさい。家  
族の各人が自分の為した事に責  
任をとることを学ぶよう更にも  
う一週間努力を続けるように提  
案しなさい。如何にして私たち  
の努力を強化するかに就て討論

しなさい。

家族を次の結論に導きなさい  
い。私たちの天父は私たちを助  
けようとして居られるので私た  
ちに彼に祈る権利を与えられた  
のであります。若しも私たちが  
私たちの行為に対し責任を取る  
ことを学ぶように彼が助けて下  
さるる様に祈るなら彼は助けま  
す。私たちは主の約束を試験し  
て見ましよう。私たちは克服し  
ようと努めているこの性癖につ  
て熱心に彼に求め彼を見出すこ  
とが出来ないかどうか見てみま  
しよう。私たちは彼に近づいて  
彼が私たちに近づき私たちが私  
たちの行為に責任をとるだけ強  
くなるように助けようとしな  
い。子供たちに続けてこの用紙を  
用いるかどうか決めさせなさい。

両親は子供たち一人々々の進  
歩したことを示す如何なる行為  
をも見つけ出して遠大な激励と  
称讃を与える必要があります。  
貴方は又子供が彼自身の言い訳  
をし、或は彼の悪事を弁護しよ  
うとする時に気をつける必要が  
あります。又貴方自身をも注視  
しなさい。多くの成人が彼らの  
行為を正当化しようとする傾向

があります。善又は悪及び変化は成人には、よりゆっくりと来るものであります。

家族の各人をして、この課で用いた聖句から今週中最も彼を助けるであろうと感じた一句を暗記させるようにすると有意義です。

### 「閉会の歌と祈り」

家族は末日聖徒讃美歌百七十六番、祈りは魂の、を歌うことを喜ぶかも知れません。

閉会のお祈りには私たちの霊的な家督権に就ての新しい洞察力に感謝し、私たちが私たち自身の行為に責任をとることに強くなるように助けて下さるようお願いしなさい。

## 第五課

### 家族活動の時間

#### 「目標」

くつろいだ時を楽しみ、面白く且同時に家族の愛と理解を深めるであろう活動に、共に興ずる。

既に学んだ四週間のレッスンから成長し、家族の各人が彼が神の子として家族が誇りとする処の才能を持った非常に価値ある者であると感ずるよう助ける活動が提案されます。貴方がこの活動の時間を計画するに当っては今迄学んだレッスンの関係に注意し、この時間中お互に尊重し合い感謝し合う気持ちを深めるようにしなさい。

#### 「開会の祈り」

##### 「提案一」

家族の者に彼らが天父から受けている才能を用いる機会を与えるような計画を準備しなさい。それは歌を歌うか詩の暗誦（これは自作でもよい）短いお話、暗記した聖句の復誦ゲームか又は歌に家族を導く、短い劇謎々等であります。レコードをかけ一人またはそれ以上の子供たちが自発的にダンスをしてプログラムをよりよくしてもよろしい、それは簡単な自然なものとして豪華なプログラムとしないう方がよろしい。その準備は子供たちまたは両親を心配させるものであつてはなりません。けれども他面それは、偶然またはいいかげんなものであるべきではない。

はありせま。それが幸福なくくつろいだ時間であるように詳細に注意深く考慮されるべきであります。

##### 「提案二」

家族はこのプログラムとリフレッシメントを閉鎖してもよろしい。

「提案三」家族を楽しませるゲーム

（これは上記提案の家族プログラムの代りにまたはそれに加えて行うことが出来ます）ゲームを始める前に家族は王と私から、貴方がわかつて来た、を合唱するとよい。もしも家族がこの歌のレコードを持っていたらそれをかけて彼らは、そのレコードと共に歌つてもよくあるいはピアノに合せて歌つてもよくあるいはまたレコードもピアノもなしで誰かその歌を知っている人の指揮で歌つてもよろしい。

貴方がわかつて来た、

貴方がわかつて来た

貴方がわかつて来た

来た

貴方が好きになって来た

貴方も私を好きになってね

貴方がわかつて来た

貴方と仲好しになろう

だけど上手に

貴方は立派なのだから

（ちやうど私が望んでいた人だ）

貴方がわかつて来た。

貴方と共に居る時、

私の心は安らかに自由だ

そして話したい事を知る

貴方はそれに気がつきますか？

忽ち、私は明るく朗らかななる

一日貴方に就て学ぶことがあまり美しく新鮮だから

一、第一課に記載してある。貴方は私に就て何を知っていますか？の遊びをしなさい。

この活動の間、家族の各人に最初このゲームをした時に用いた私の好きなもののいろいろのリストを一枚づつ持たせなさい。

二、このゲームに非常にふさわしい、私の好きなもの、と云う明朗な歌があります。それはロジャーズとハマスティン

による音楽喜劇、音楽の響き、からのものであります。

家族がもしこのレコードを持っているならそれを楽しみに

聞き、またレコードに合せて

歌つてもよろしいでしょう。

その歌は少女の好きなものについて告げて居ります。

私の好きなもの

ばらの花の雨滴

子猫のほおひげ

光った銅のやかん

そして暖い毛の袋手袋

紐で結んだ褐色紙の小包

これらは私の好きないくつかです

クリーム色の小馬

パリパリしたリンゴストルーデル

扉の鈴と心の鈴

そしてシユニーゼルト、スードレス

月を載せた雁の羽

これらは私の好きないくつかです

犬にかまれた時、蜂にさされた時

私が悲しくなった時

私は只好きなものを思い出します

すると私の気分はいやされま

す

もしもこのレコードがなければ家族の持っている他の陽気なレコードをかけてもよろしい。

三、第二課に記載されてある

私は誰かを思っている。  
(誰かのことを考えている)  
の遊びをしなさい。先にこの遊びをした時に用いたいろいろな性格を用いなさい。

四、影絵の遊びをしなさい。これはレッスンで用いられてきましたが第二課で考えた各人の特長を強調しているのが適切であります。家族活動の前に家族の各人のために17×20インチの紙を用意しなさい。これは不用な紙、包装紙または新聞紙、またはタイプ用紙を貼り合せて要求された大きさにしてもよろしい。活動を始める前に影絵をつくりなさい。それを用いる時迄、作る者以外は見ないようにします。秘密を守る暗い部屋でそれを作りなさい。スタンドからかさを取除いて百ワットから百五十ワットの電球をソケットにはめなさい。そしてその電燈を平面な何もかけない壁から約三呎離して置きなさい。そして、その横顔を作ろうとする人を電球と紙を貼った壁の間の椅子に坐らせなさい。紙はマスキング・テープでしっかりと留めて壁を損じないようにしました滑り

落ちないので作る人は自由にその手で描くことが出来ます。くつきりしたゆがまない影が紙にうつるように電燈の位地を調節しなさい。描き終ったらその絵を取って番号をつけその本人も後程見れないように伏せておきます。小さな紙片に本人の名前と番号を記します。その絵は作った順に番号をつけると当て易くなりますからそうしないようにします。

絵を描いた(影の跡をつけ)人(普通に親)は家族の他の者から彼の絵を描いてもらいます。

このゲームを始める時には各人のために小さな紙片と鉛筆を用意します。もしも字を書くことの出来ない子供が居たら両親かまたは年長の子供が手伝って名前を書いてあげます。横顔の絵が一つづつ出て来た時、家族の各人はその人と思はれる名前の側に番号をつけて行きます。書いたり読んだりすることの出来ない子供には家族の他の者が手伝ってやります。全部の絵が示され終ったら紙片を交換し合せて、調べて優勝者を決めま

す。このゲームの興味あることは、各人が自分の横顔を見てびっくりし、保じられないことであります。私たちは同じ家族に属してはいるが各人がそれぞれ異っていることに注意を喚起すべきであります。天のお父様はそのように計画されたのであります。

五、影絵をつくって台紙に貼りつけます。これは前のゲームに代ってまたは、追加して行うことが出来ます。横顔は前述した通りにして黒かまたは暗い紙にうつしとってそれを切り抜きもつと大きな白紙に貼りつけます。この絵は家族にとつて宝となり特に年月の経過と共に貴重なものとなって来ます。

六、私は誰でしょう?の遊びをしなさい。当てる人にかくしをして家族の真中に立たせまます。ゲーム・リーダーの合図によつてすべての人が静かに場所を変えます。そこでリーダーは家族の一人を指差します。指差された人は声色を変えて、私は誰でしょう?と云います。当て役はそれを当てます。若しも彼が当てきらなかったら他の人が

順番に代って声色を変えて、私は誰でしょう?と云います。当てる人が若し正しく当てたら当てられた人と交代します。

このゲームはまた如何に声が異っているかを示します。

提案四 子供のいない家庭のために

夫妻だけであっても第一課に記述した、貴方は私に就て何を知って居りますか?の遊びを楽しいことが出来ます。

若い夫妻も義理の親の才能やよい資質を挙げた表を作ることによつて楽しい時を持つことが出来ます。妻は夫の両親を見て感謝しているその立派な性格の表を作ることが出来ます。そして彼女は彼女を印象づけたこれらの資質を手紙に書いて彼らに感謝の意を表すことが出来ます。同時に夫もまた妻の両親の立派な性格の表を作つて、如何に彼らが立派な人であるか手紙に書いて感謝の意を表すことが出来ます。そこで夫妻は同様の行程を以て彼または彼女自身の両親のよい資質の表を作り、同じように手紙に書いて彼らに送ります。

子供が結婚してしまつた老夫婦は、各子供たちに感謝し感心している、よい資質の表を作り称讃と感謝の手紙を各人に書いてやる事が出来ます。

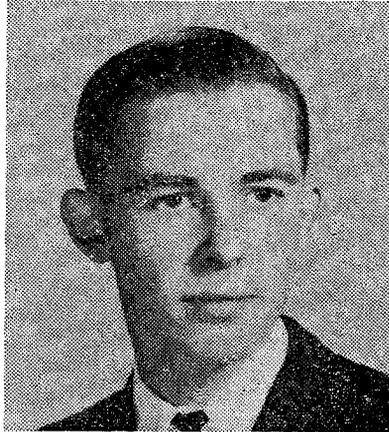
これはたった一人で生存している人にも、楽しみ参加出来る活動であります。

この手紙を受取つた子供も親も共に驚き、手紙の差出人が彼らに對しどのような気持を持っているかを知つて、どんなにか感激することでありましょう。

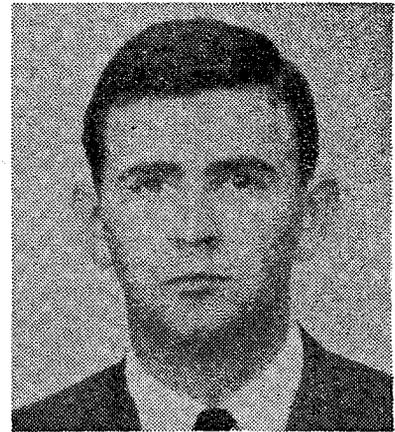
若し必要な状態があれば兄弟姉妹或は伯父伯母などにもこの手紙を書くことができます。



キヤスリン・M・エルダー姉妹  
ロンドンから



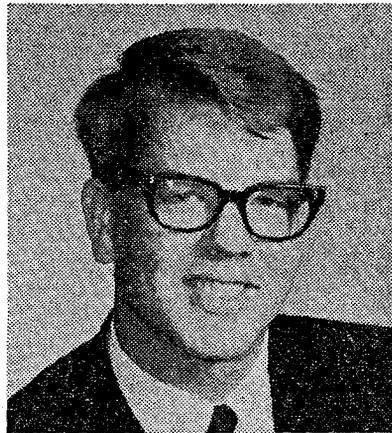
フロイド・J・ニルセン長老  
ユタ州から



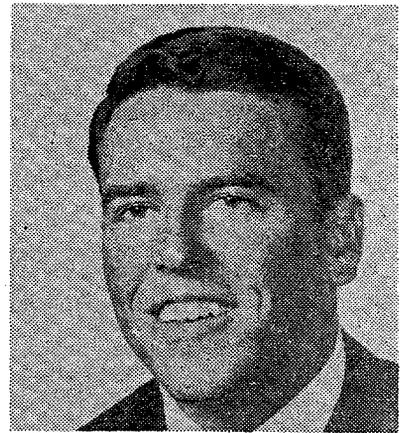
グレン・B・ブレイクレイ長老  
ケンタッキー州から

私たちは日本についたばかりの

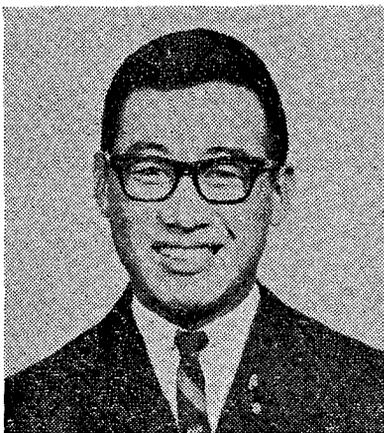
宣教師です どうぞよろしく



マイケル・R・ストロッド長老  
オハイオ州から



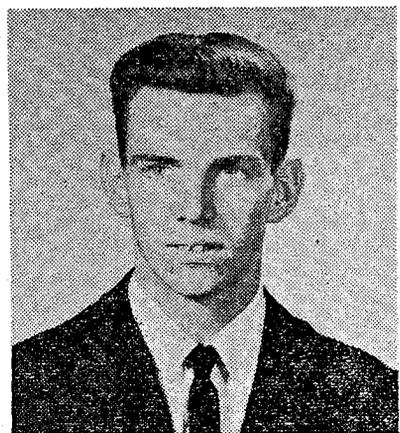
トーマス・R・  
スティーヴンス長老  
カルホルニア州から



ティモニー・G・ヒロナカ長老  
カナダから



ステーヴ・J・マーティネス長老  
カルホルニア州から



ジェイムス・W・カービン長老  
ユタ州から

伝道本部だより

バプテスマおめでとう  
ございます

- 普天間 コメス セイキチ
- 群馬 ヤジマ ヤスオ
- 広島 ミナミ ヨオコ
- サワイ アヤコ
- 甲府 シミズ エツオ
- ヨネヤマ チヨコ
- 京都 イナバ クニオ
- イナバ ヤエコ
- イナバ フサエ
- イナバ ユミコ
- フシキ ミチエ
- ヤマカワ フミコ
- ニシムラ セツコ
- 名古屋 アンド サヨコ
- 那覇 ギマ トシカツ
- キンジョウ セツコ
- 新潟 タニ トシアキ

岡町

- ツツミ アサハル
- オカムラ イサオ

岡山

- フジイ アキコ

札幌

- テルイ シユウイチ

仙台

- マツウラ タケトシ
- コバヤシ ヤスヒロ

東京中央

- ツチャ カズミ
- ヨシガ クミコ
- ノムラ ケンジ
- オヤナギ リユウスケ
- スズキ タケシ
- ホンジョウ エツヒサ

東京東

- コンドウ ハルエ
- タカヤナギ ヨオコ
- ナガシマ テルコ
- オタキ トオル
- ニシカワ アキミ
- ヤマダチ カズオ
- シライ ミサコ

東京北

- アキラ アサヨ
- カネコ ケンジ

東京西

- タガミ シンイチ
- タマキ シゲル
- フジモリ ノブヒコ
- ツカダ エイジ
- ウメザワ シゲアキ

山形

- オヌマ コオタル
- ワタナベ イサム
- スズキ ソウスケ
- スズキ シゲコ
- スズキ タミコ
- オリハラ ケイコ
- イシザワ キョウコ

旭川

- ワカマツ モトオ(教)

群馬

- マツモト ヒデイチ(教)
- クロサワ ニナオ(教)
- コジマ ノリオ(執)
- ホソヤ マサオ(執)

広島

- ウエヒラ ヨシカズ(執)
- ウナコシ マサヒロ(執)

(神権昇進おめでとう)  
ございます

名古屋

- フジタ ミチアキ(執)
- フクヤマ テルオ(執)
- チギ ナオユキ(執)
- カラキ ツトム(祭)
- イトウ ヒトシ(執)

岡町

- サイトウ ハルシ(執)
- サノ シゲル(教)
- オザキ ヨシノリ(教)
- オゼキ ケンジ(祭)

東京中央

- ウエノ クニオ(祭)
- コガ タケシ(教)

東京東

- サガワ ヨシカツ(祭)
- ヒカゲ マサヒコ(教)
- アカヌマ タダオ(教)
- ウラベ テルオ(教)
- ハマダ シュンイチ(祭)
- ナカガワ シゲル(祭)
- タカバヤシ タカヒロ(祭)
- サカタ キヨシ(執)

東京北

- イソベ マツヒサ(教)
- ヒライシ カズオ(祭)
- ナカムラ マサヒコ(祭)

東京南

- ヒガ サイキチ(長)

東京西

- アラカワ ユキノブ(教)
- タカイ ヒロシ(執)
- タケナカ アツシ(執)

山形

- イガラシ ケンイチ(執)
- ヤマカワ カズオ(執)
- タナカ ジンイチ(執)
- オエ ヒトシ(執)
- イノウエ ジュンイチ(執)

横浜

- クマキ タカユキ(長)
- コスゲ ヤスオ(祭)

那覇

- タイラ ヒサシ(執)
- タクマ タモツ(祭)

☆

☆

☆

☆

☆

# 図書案内

## 教義と聖約

高価なる真珠上質革製合本	一〇〇円
モルモン経	三〇〇円
教義と聖約 合本	三〇〇円
高価なる真珠	三〇〇円
モルモン経 (新訳)	三〇〇円
信仰簡条の研究	三三〇円
モルモンとは? (新版)	一五〇円
総合聖句の手引	一五〇円
日本系図探究要覽	一〇〇円
アロン神権者用学科課程	一五〇円
メルケゼデク神権、教師と生徒用 「モルモン経の読み方の手引」	二〇〇円
ナザレのイエス	一〇〇円
正しい日本史	一〇〇円
家督権の祝福	一〇〇円
料理の作り方	五〇円
求道者教育法	一〇〇円
神の王国	二〇〇円
基督・イエス	三〇〇円

## 日曜学校用

モルモン経物語	一五〇円
旧約聖書物語	一五〇円
家族の昇栄	二〇〇円
福音の実践	二〇〇円
奇しきみわざ(上)(下)	二〇〇円
我等の標準聖典	二〇〇円
古代の使徒	一五〇円
シオン山の救い手たち	二〇〇円
教義と聖約の教え	二〇〇円

## M I A 用

我ら指導者のことば	二〇〇円
我らは信じる	二〇〇円
我らは生きる	一二〇円
我らは奉仕する (一九六六年度テキスト)	一五〇円
生活の目標	一五〇円
今日の十誡	二五〇円
M I A・エンサイン・ ローレルの手引	一五〇円
演説が上手になる法	一五〇円
素晴しき考え (一九六六年度テキスト)	二〇〇円

## 讚美歌及び歌集

末日聖徒讚美歌(新版)	四〇〇円
レクリエーション歌集	四〇〇円

——注文は各支部長へ——

## お知らせ

日曜学校六十六年度テキストは次のとおりです

- A コース 旧約聖書物語
- B コース 福音の実践
- C コース 福音の紹介
- D コース 家族の昇栄
- E コース 教義と聖約の教え

図書の購入は支部長会に申し出てください

## 編集後記

■ネオネオの手紙を「カトリック」の号目が出版されたことになりましたが、あらためて編集・出版のむつかしさを味わいました。「聖徒の道」の持つ性格から早急な発展は望まれないにしても、現在の赤字はなんとかして無くしたいものです。私たち編集子も、素人がやることだからとか、プロでないのだからとかそんな安易な気持ちに流れないように注意したいものだと思っただけです。「聖徒の道」はみんなのもの、みんなで意見を出し合って発展させましょう。

■わたくしごとですが、このたび長男が誕生して大いに張り切っています。そして少々テレテいます。(こ)

■山田五郎兄弟の家族は四人である。奥さんと二人の小さなお子さんと、二人ともそれぞれ年令に応じたワンパクぶりで、兄弟の仕事に注文をつけるらしい。そこで兄弟は考えあぐねて、聖徒の道の原稿を書くときに姉妹と共同作戦を立てることにした。つまり草稿をノートに切れはしにメモしておいて姉妹に渡し、姉妹が子供の休んだのをみはからって清書するという二段作戦である。これで二人の子供たちも、両親のどちらかを相手にできるわけで、メダシメダシであるが……もう一つ理由があるようで、兄弟の書き降り原稿の文字はそのままの状態だと印刷屋さんに理解されないからということである。

今日は編集日程の都合で山田五郎兄弟の編集後記が入らないのを幸いに、ナンタカのエサにしたいのである。

# 聖徒の道は

私たちが真理を知る「てだて」であり

私たちの心と心がかよう道です

あなたの霊の進歩のために

あなたの信仰のかてのために

お役に立てる本であればと思います

## 支部所在地

### 北海道地方部

- 旭川 旭川市8条5丁目  
MIA集会所 旭川公会堂  
電話 (2-1545)
- 室蘭 室蘭市幸町89  
電話 (7054)
- 小樽 小樽市富岡町1ノ35  
電話 (2-8224)
- 札幌 札幌市北2条西24丁目  
電話 (63-7866)

### 東中央地方部

- 群馬 高崎市並榎町275  
電話 (2-7121)
- 甲府 甲府市中央3丁目12-2  
松本市鷹匠町269
- 新潟 新潟市中大畑町557  
電話 (2-8660)
- 仙台 仙台市光禅寺通り28  
電話 (25-0897)
- 東京中央 東京都港区青山北町6ノ34  
電話 (408-3307)
- 東京北 東京都中野区江原町1ノ8ノ14  
電話 (952-1531)
- 東京東 東京都江戸川区小岩町6-780  
電話 (657-5223)
- 東京南 東京都大田区南千束町249  
電話 (729-6311)
- 東京西 東京都武蔵野市吉祥寺東町1ノ7ノ7  
電話 (22-6764)
- 山形 山形市七日町4丁目12ノ23
- 横浜 横浜市港北区篠原町29  
電話 (49-8772)

### 西中央地方部

- 阿倍野 大阪市阿倍野区阪南町中1ノ38  
電話 (621-8327)
- 福岡 福岡市浄水町46  
電話 (52-8653)
- 広島 広島市古田町古江400ノ3  
電話 (31-6135)
- 金沢 金沢市上胡桃町11
- 京都 京都市左京区下鴨松原町44
- 名古屋 名古屋市昭和区北山町3ノ41  
電話 (73-4210)
- 西ノ宮 兵庫県西ノ宮市仁川町4ノ54  
電話 (5-0141)
- 岡町 大阪府豊中市岡町北2ノ18  
電話 (2-1236)
- 岡山 岡山市北方70
- 三ノ宮 神戸市灘区篠原本町4ノ35  
電話 (86-2602)
- 柳井 山口県柳井市今市391

### 沖縄地方部

- 普天間 沖縄宜野湾市野嵩区328
- 那覇 沖縄那覇市松尾区139

- 建築部事務所 東京都港区青山北町6ノ34  
電話 (402-4010)

(誤りのある支部の支部長はご一報ください)

## 聖徒の道

一九六六年二月一日発行

振替口座 東京一六二二六番

発行人兼編集人 アドニー・Y・小松

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会

印刷所 合名会社三五堂

定価八十円

一年予約八百四十円(申込は支部長まで)